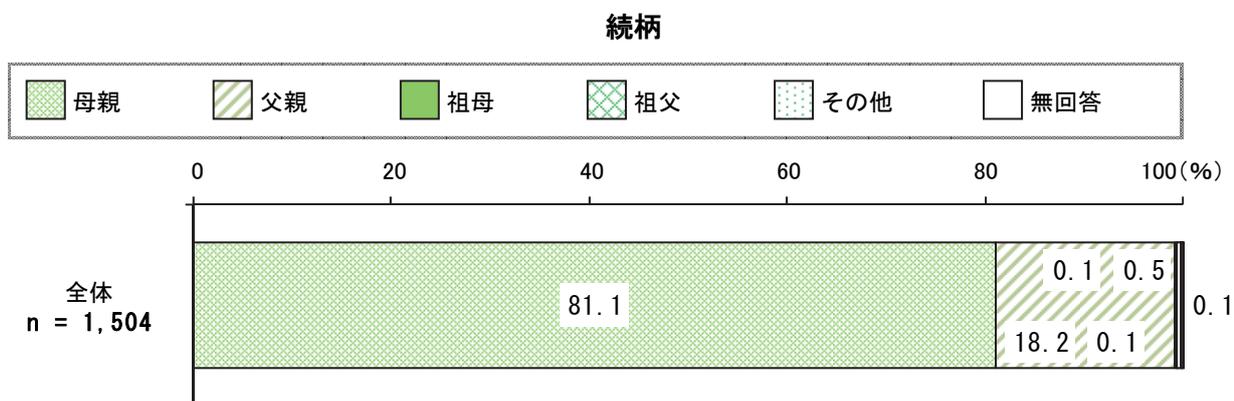


第 5 章 調査結果（保護者等）

第5章 調査結果（保護者等）

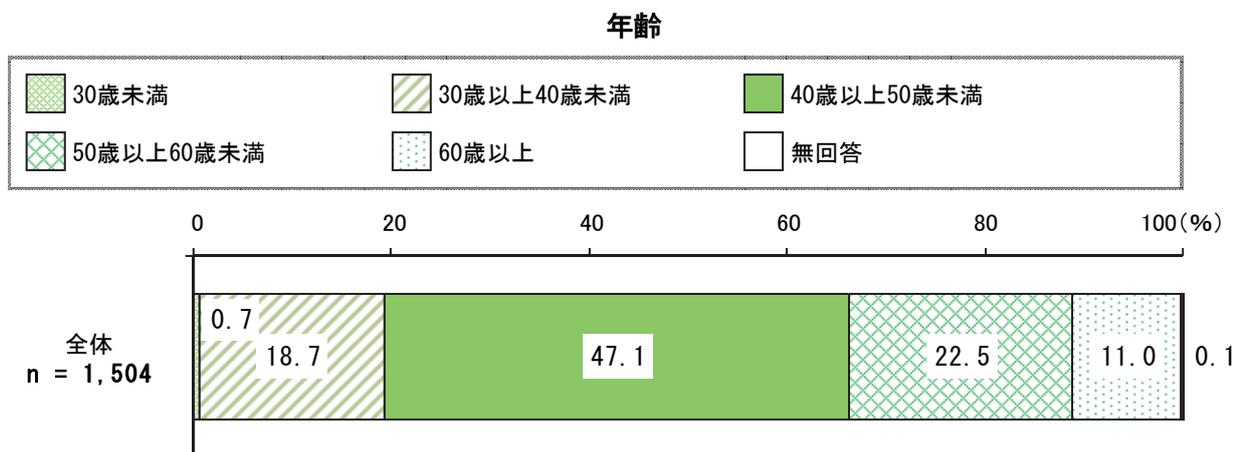
1. 回答者の基本情報

(1) 続柄



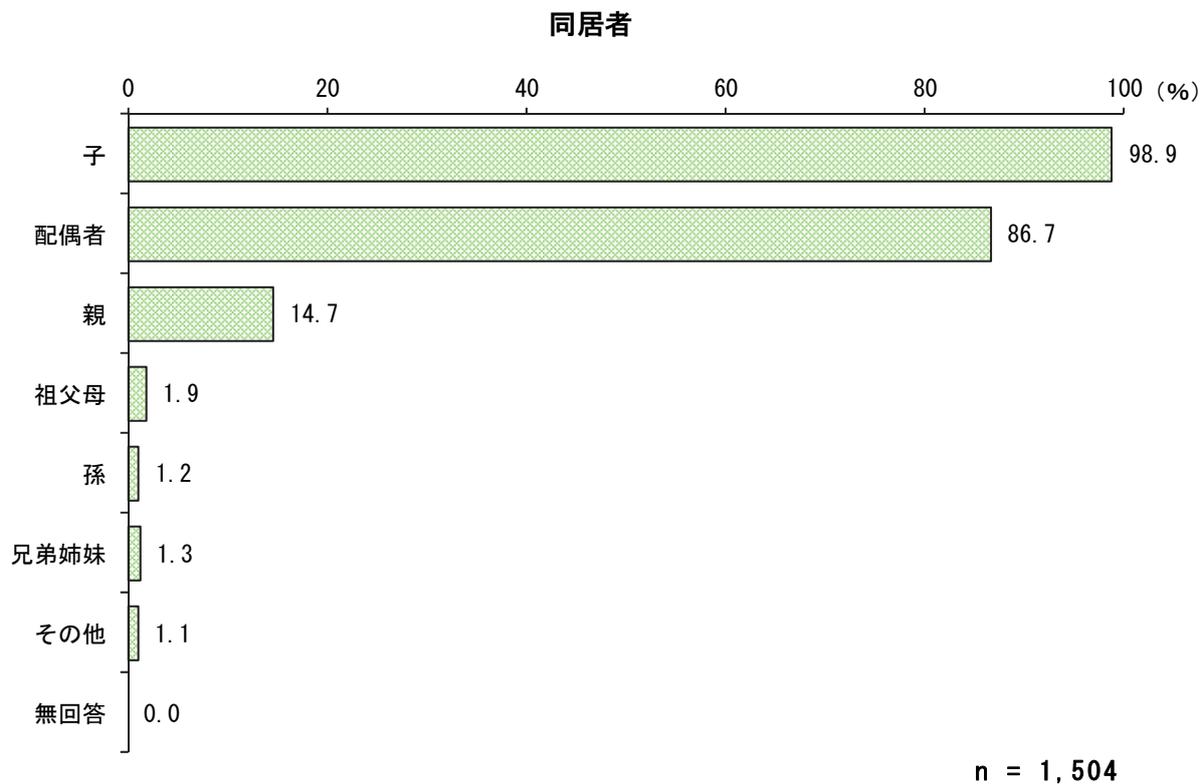
続柄は、「母親」が81.1%、「父親」が18.2%となっている。

(2) 年齢



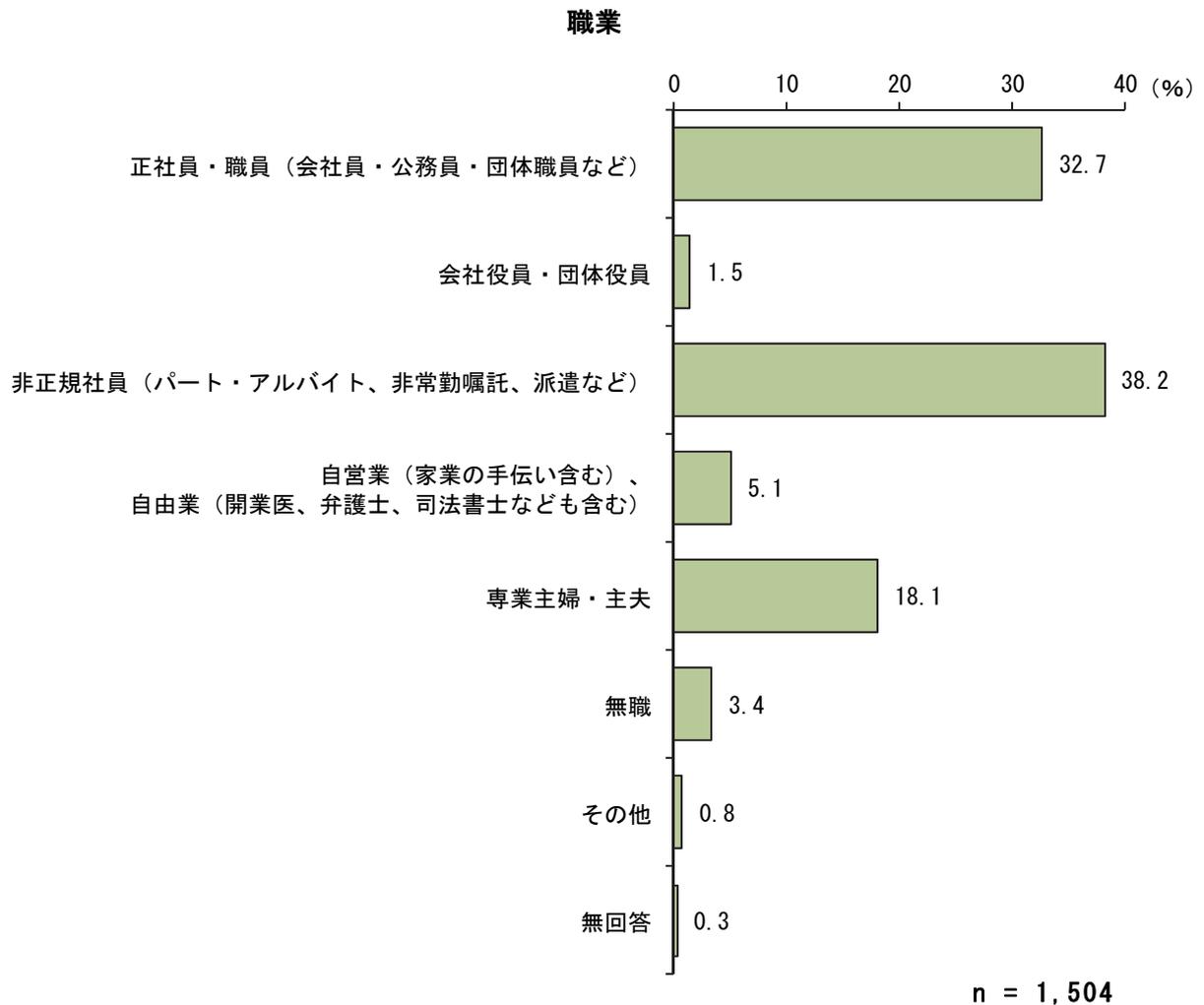
年齢は、「40歳以上50歳未満」が47.1%、「50歳以上60歳未満」が22.5%、「30歳以上40歳未満」が18.7%、「60歳以上」が11.0%となっている。

(3) 同居者



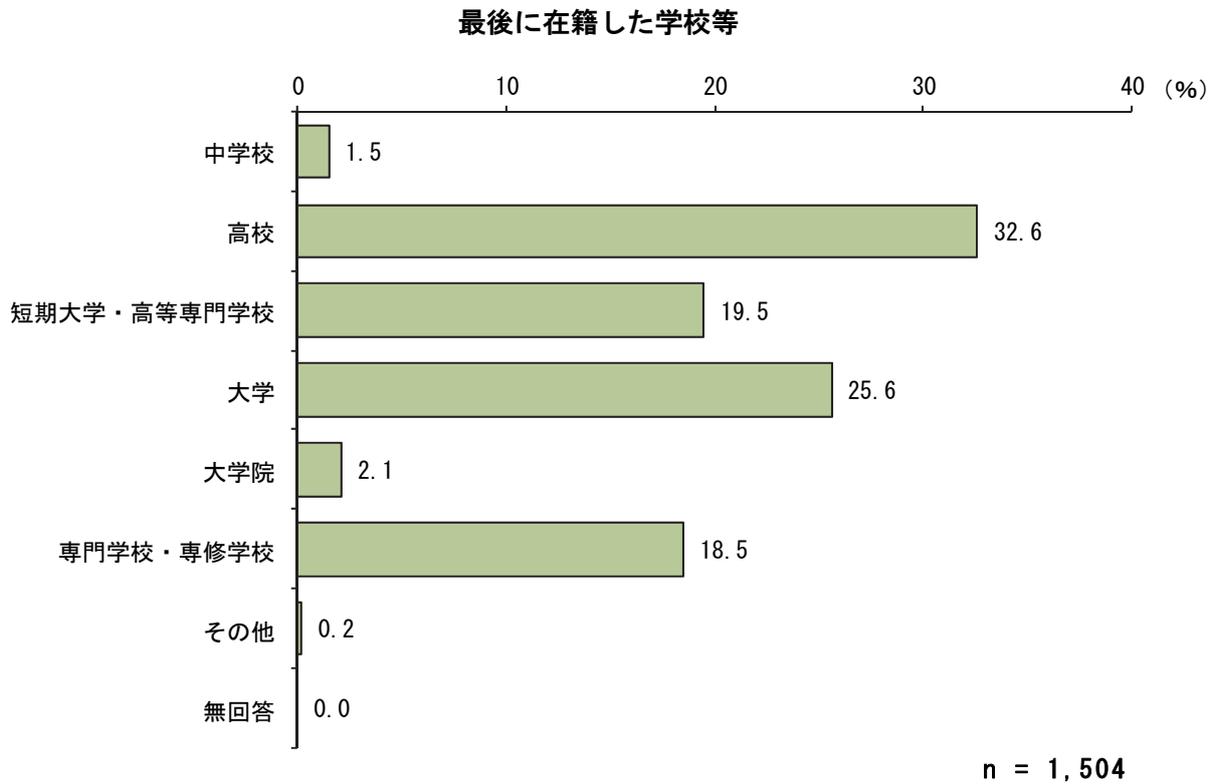
同居者は、「子」が98.9%で最も高く、次いで「配偶者」が86.7%となっている。

(4) 職業



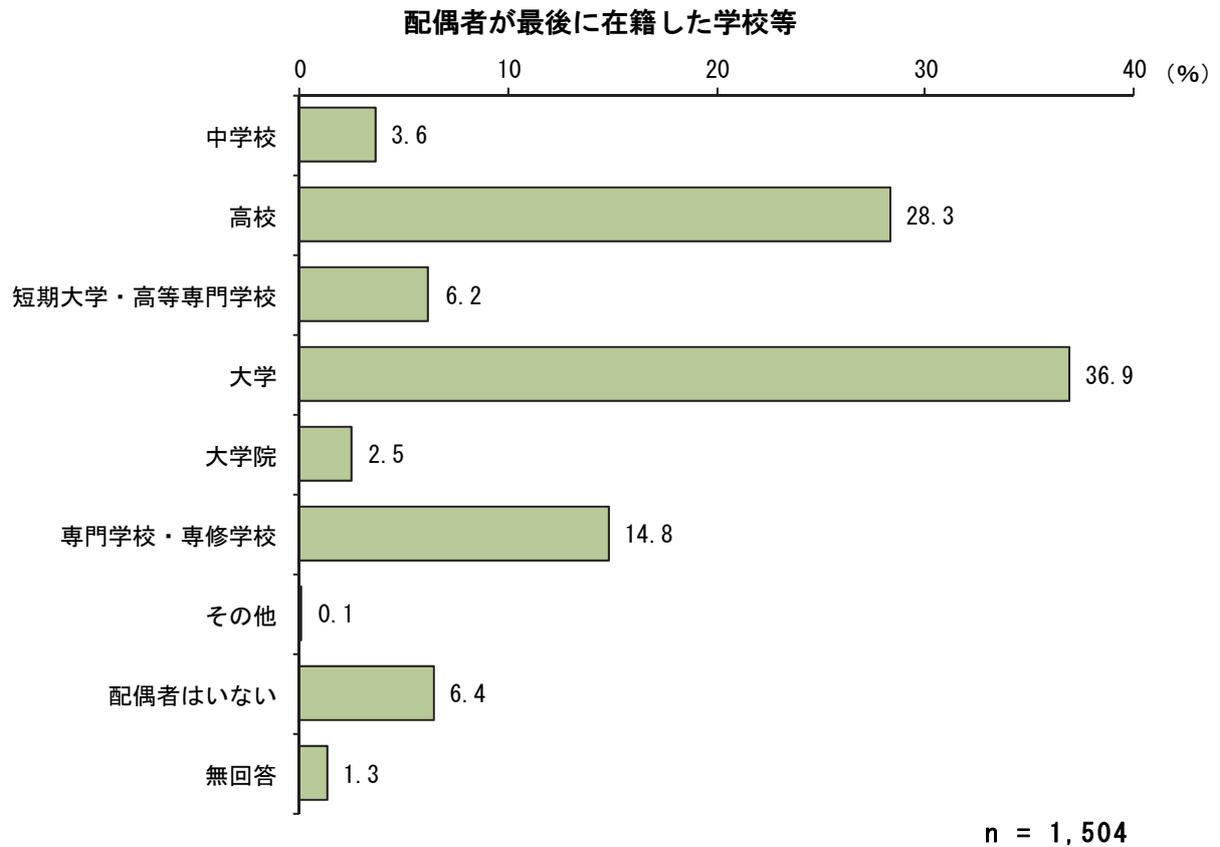
職業は、「非正規社員（パート・アルバイト、非常勤嘱託、派遣など）」が 38.2%で最も高く、次いで「正社員・職員（会社員・公務員・団体職員など）」が 32.7%、「専業主婦・主夫」が 18.1%となっている。

(5) 最後に在籍した学校等



最後に在籍した学校等は、「高校」が 32.6%で最も高く、次いで「大学」が 25.6%、「短期大学・高等専門学校」が 19.5%、「専門学校・専修学校」が 18.5%となっている。

(6) 配偶者が最後に在籍した学校等

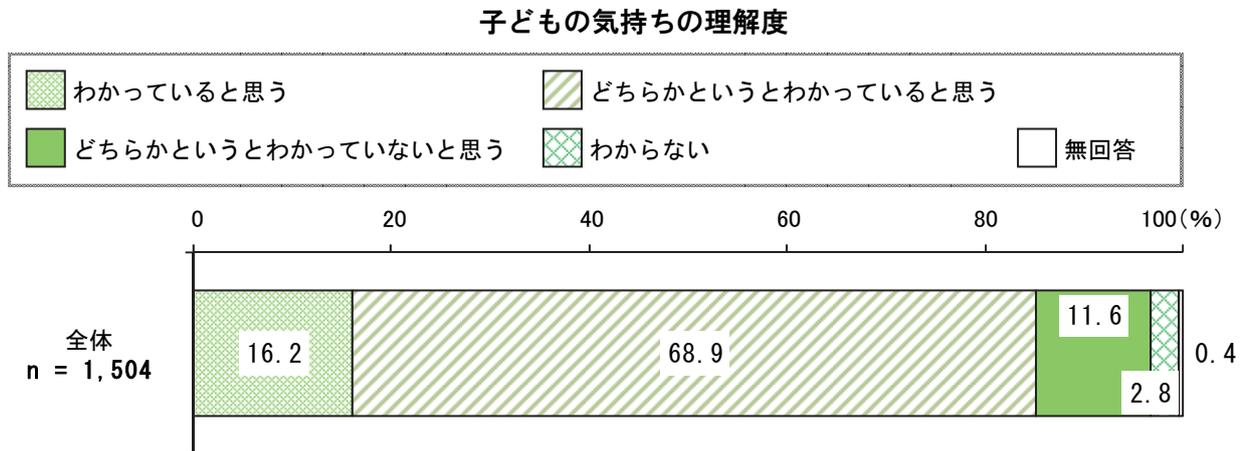


配偶者が最後に在籍した学校等は、「大学」が 36.9%で最も高く、次いで「高校」が 28.3%、「専門学校・専修学校」が 14.8%となっている。

2. 子どもについて

(1) 子どもの気持ちの理解度

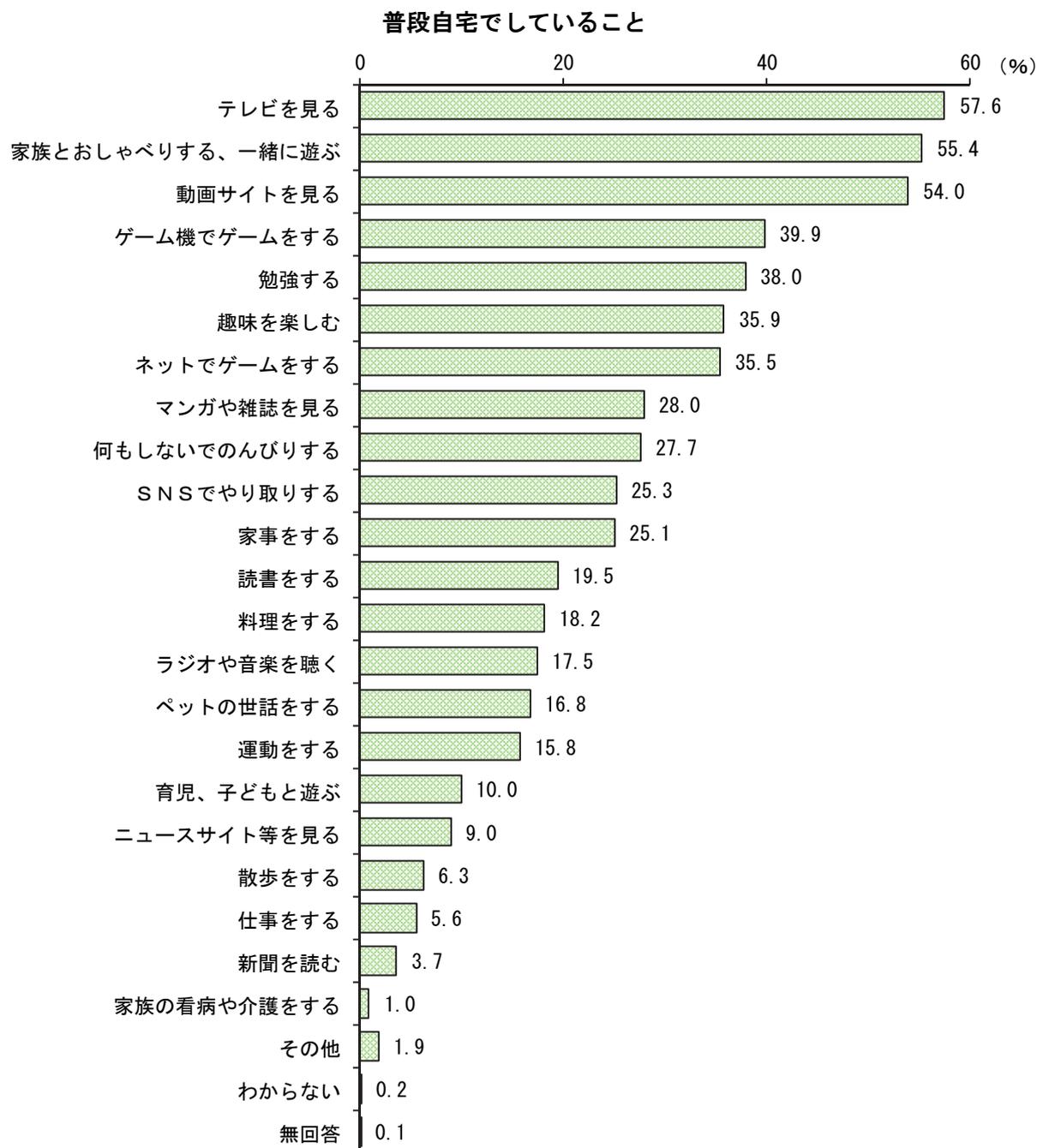
問1. あなたは、普段、お子さんの気持ちをよくわかっていると思いますか。（○は1つ）



子どもの気持ちの理解度は、「どちらかというわかっていると思う」が68.9%となっている。

(2) 普段自宅できていること

問2. お子さんが普段自宅にいるときによくしていることを教えてください。（〇はいくつでも）

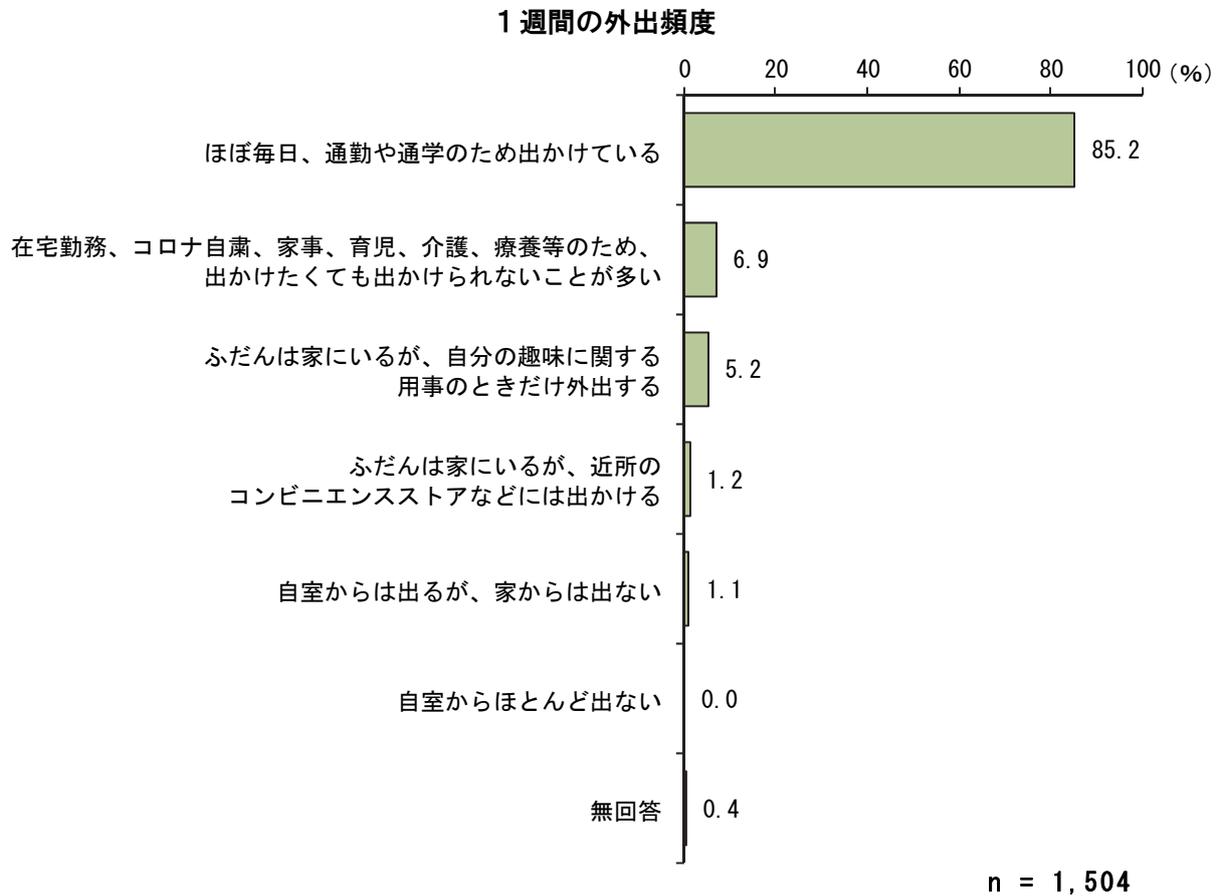


n = 1,504

普段自宅できていることは、「テレビを見る」が57.6%で最も高く、次いで「家族とおしゃべりする、一緒に遊ぶ」が55.4%、「動画サイトを見る」が54.0%、「ゲーム機でゲームをする」が39.9%、「勉強する」が38.0%、「趣味を楽しむ」が35.9%、「ネットでゲームをする」が35.5%と続いている。

(3) 1週間の外出頻度

問3. あなたのお子さんは、1週間のうちどのくらい外出しますか。（○は1つ）



1週間の外出頻度は、「ほぼ毎日、通勤や通学のため出かけている」が85.2%で最も高くなっている。

(4) あまり外出しなくなってから期間

【問3. で「3. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」

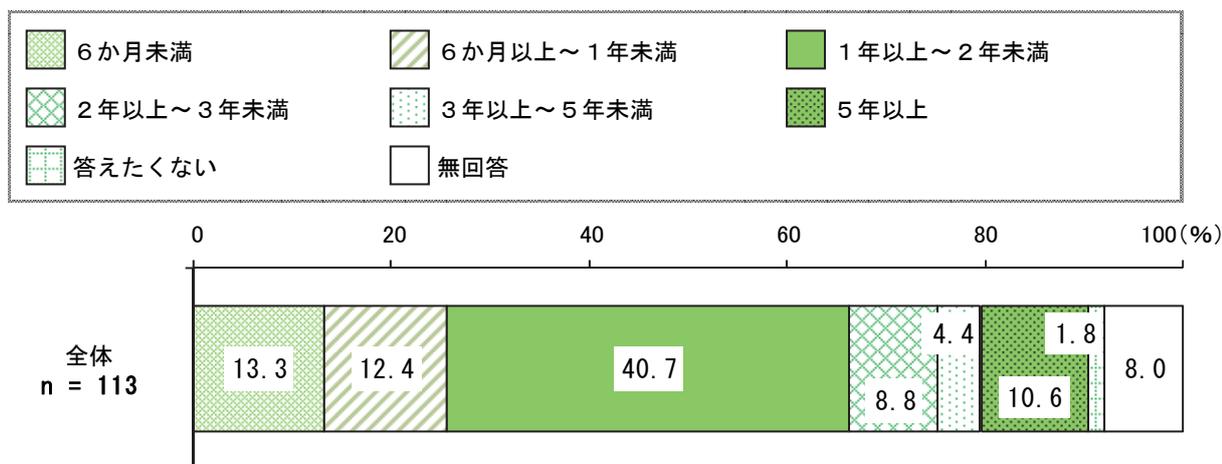
「4. ふだんは家にいるが、近所のコンビニエンスストアなどには出かける」

「5. 自室からは出るが、家からは出ない」

「6. 自室からほとんど出ない」に○をした方にお伺いします。】

問3-1. あなたのお子さんがその状況になってどれくらい経ちますか。(○は1つ)

あまり外出しなくなってから期間



あまり外出しなくなってから期間は、「1年以上～2年未満」が40.7%で最も高くなっている。以下「6か月未満」が13.3%、「6か月以上～1年未満」が12.4%、「5年以上」が10.6%となっている。

(5) あまり外出しなくなった「きっかけ」

【問3. で「3. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」

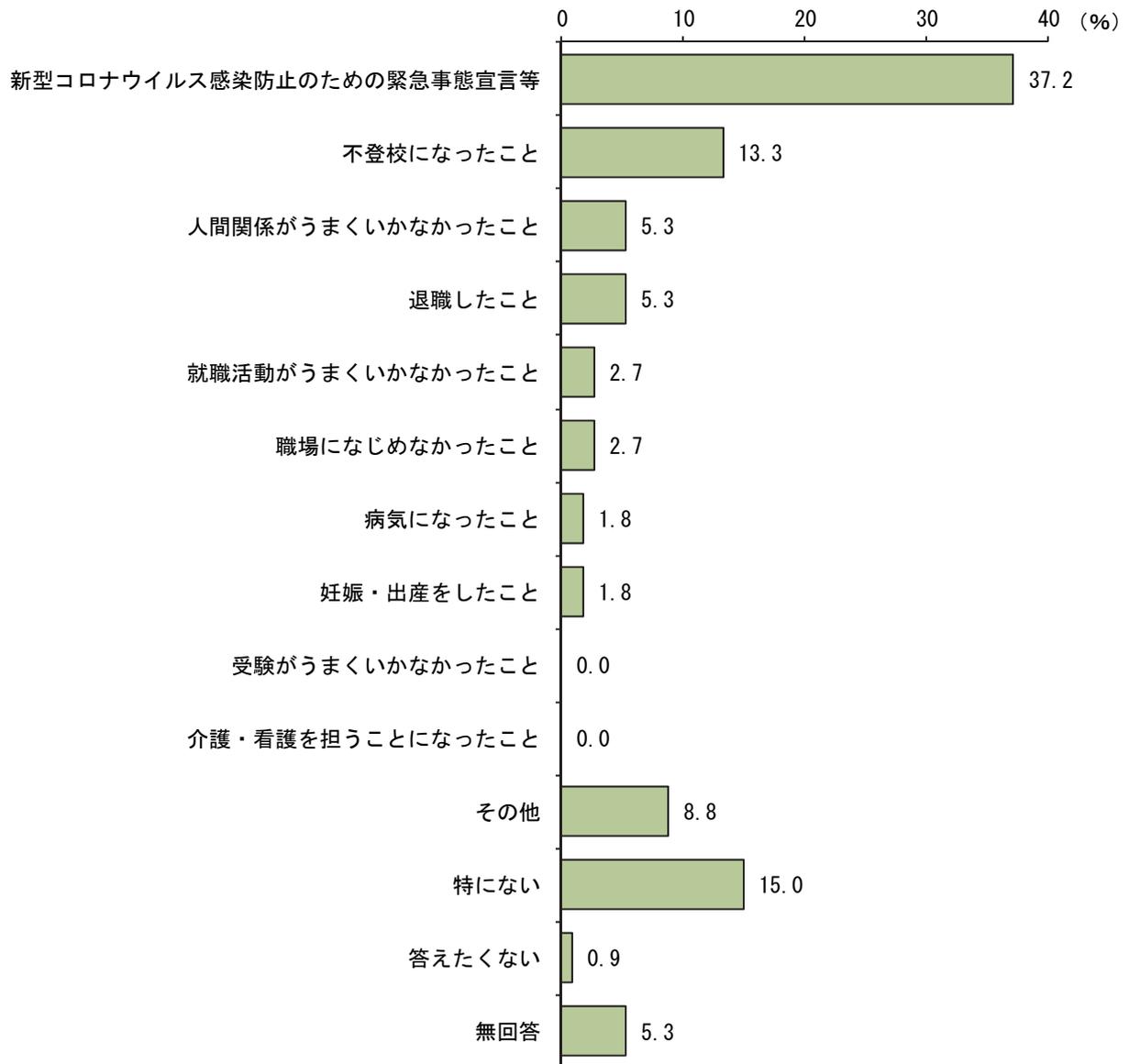
「4. ふだんは家にいるが、近所のコンビニエンスストアなどには出かける」

「5. 自室からは出るが、家からは出ない」

「6. 自室からほとんど出ない」に○をした方にお伺いします。】

問3-2. あなたのお子さんがそのような状況になるきっかけはなんでしたか。（○は1つ）

あまり外出しなくなった「きっかけ」

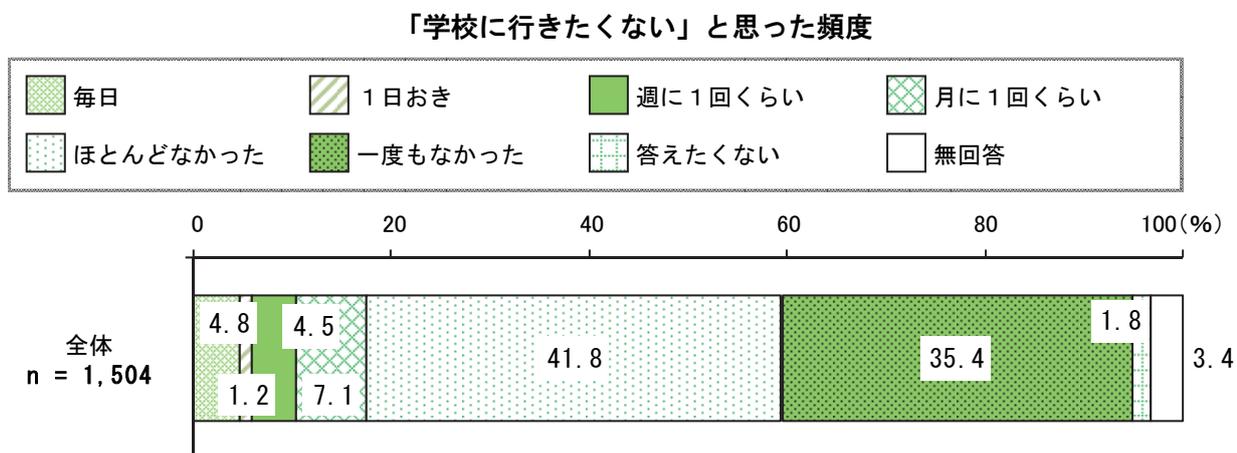


n = 113

あまり外出しなくなった「きっかけ」は、「新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言等」が37.2%で最も高くなっている。以下「不登校になったこと」が13.3%となっている。一方、「特にない」が15.0%となっている。

(6) 「学校に行きたくない」と思った頻度

問4. あなたのお子さんが小・中学校、高校などに通学している頃、「学校に行きたくない」と言ったことはありましたか。また、その頻度について、教えてください。（〇は1つ）



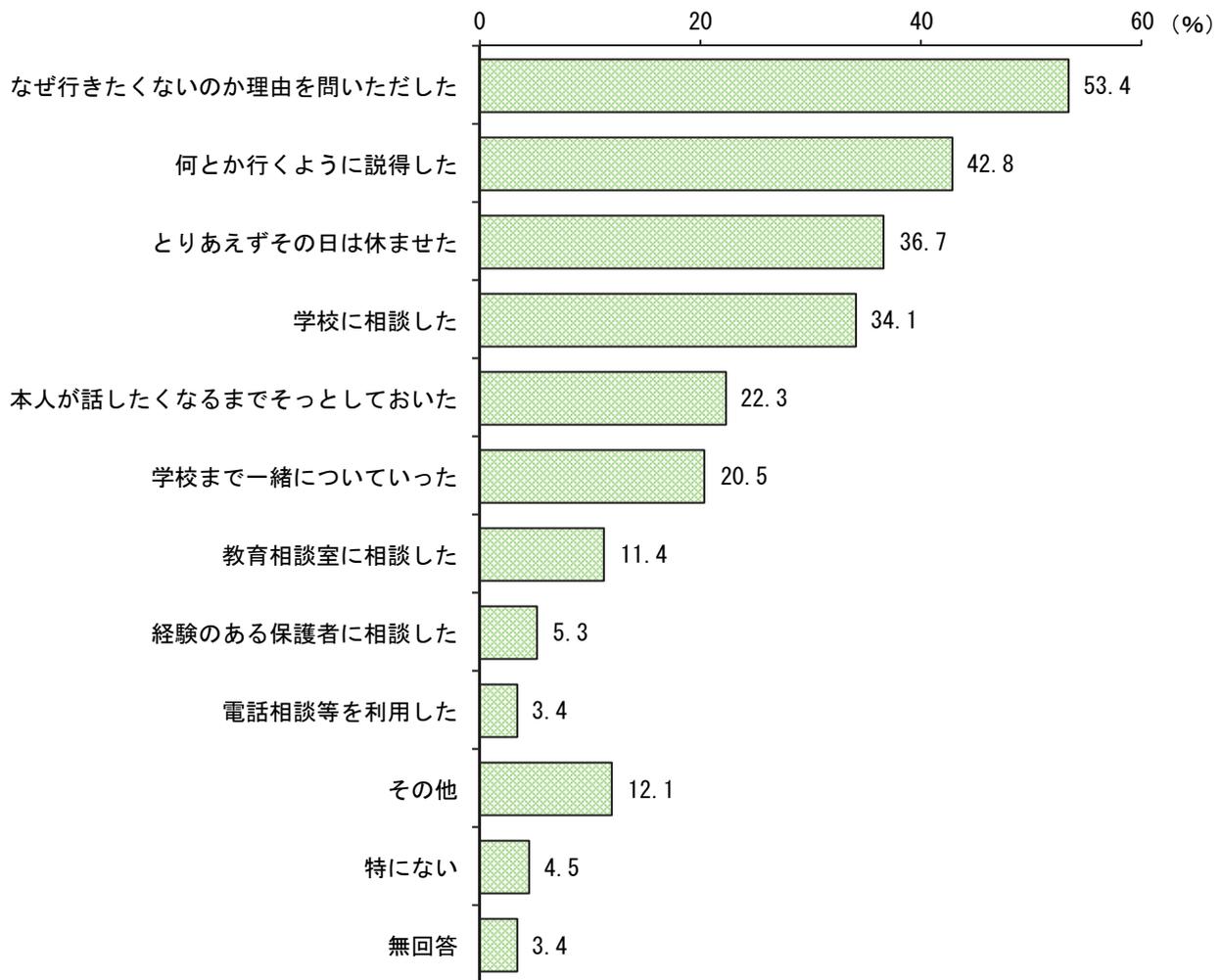
「学校に行きたくない」と思った頻度は、「ほとんどなかった」が41.8%で最も高く、次いで「一度もなかった」が35.4%となっている。

(7) 子どもが「学校に行きたくない」と言った時の対応

【問4. で「1. 毎日」「2. 1日おき」「3. 週に1回くらい」「4. 月に1回くらい」に○をした方にお伺いします。】

問4-1. お子さんが「学校に行きたくない」と言った時、どのように対応しましたか。
(○はいくつでも)

子どもが「学校に行きたくない」と言った時の対応



n = 264

子どもが「学校に行きたくない」と言った時の対応は、「なぜ行きたくないのか理由を問いただした」が53.4%で最も高く、次いで「何とか行くように説得した」が42.8%、「とりあえずその日は休ませた」が36.7%、「学校に相談した」が34.1%と続いている。

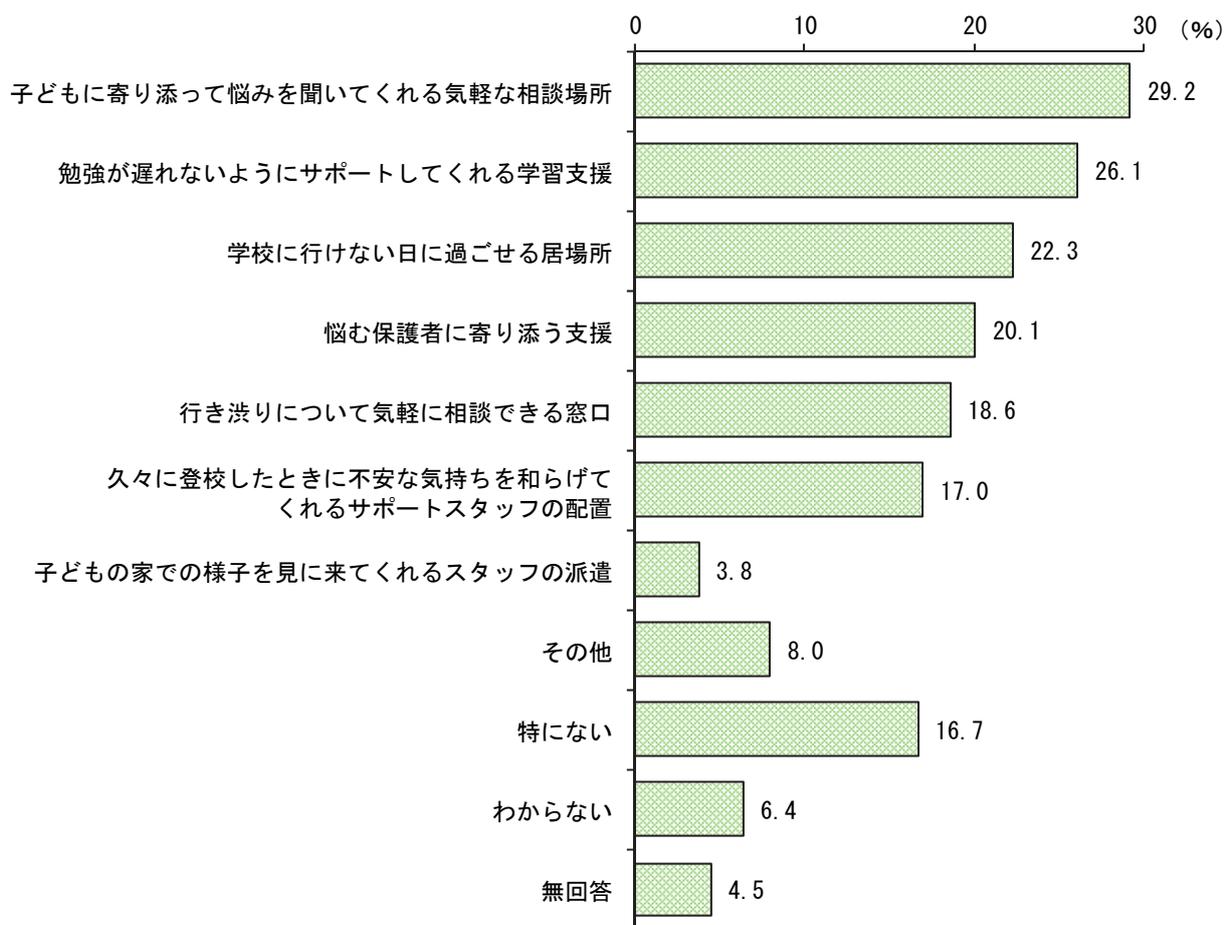
その他の具体的な内容としては、「共感する言葉をかけつつ気持ちに寄り添った上で話を聞いた」などが挙げられている。

(8) 子どもが「学校に行きたくない」と言った時に必要なサポート

【問4. で「1. 毎日」「2. 1日おき」「3. 週に1回くらい」「4. 月に1回くらい」に○をした方にお伺いします。】

問4-2. お子さんが「学校に行きたくない」と言った時、どのようなサポートが必要だと思われましたか。（○は3つまで）

子どもが「学校に行きたくない」と言った時に必要なサポート



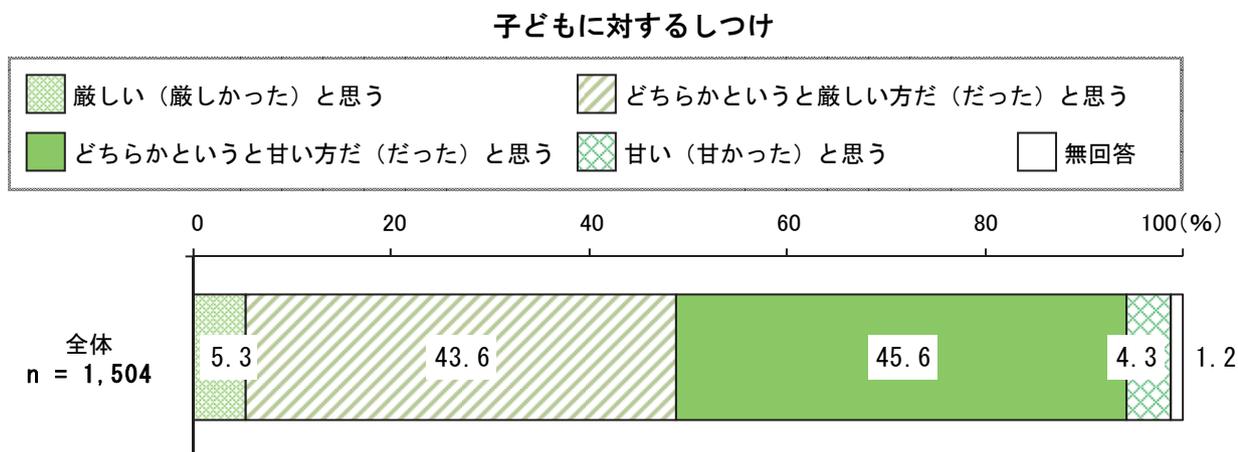
n = 264

子どもが「学校に行きたくない」と言った時に必要なサポートは、「子どもに寄り添って悩みを聞いてくれる気軽な相談場所」が 29.2%で最も高く、次いで「勉強が遅れないようにサポートしてくれる学習支援」が 26.1%、「学校に行けない日に過ごせる居場所」が 22.3%、「悩む保護者に寄り添う支援」が 20.1%、「行き渋りについて気軽に相談できる窓口」が 18.6%、「徐々に登校したときに不安な気持ちを和らげてくれるサポートスタッフの配置」が 17.0%となっている。

3. 子どもへのしつけ・子育てについて

(1) 子どもに対するしつけ

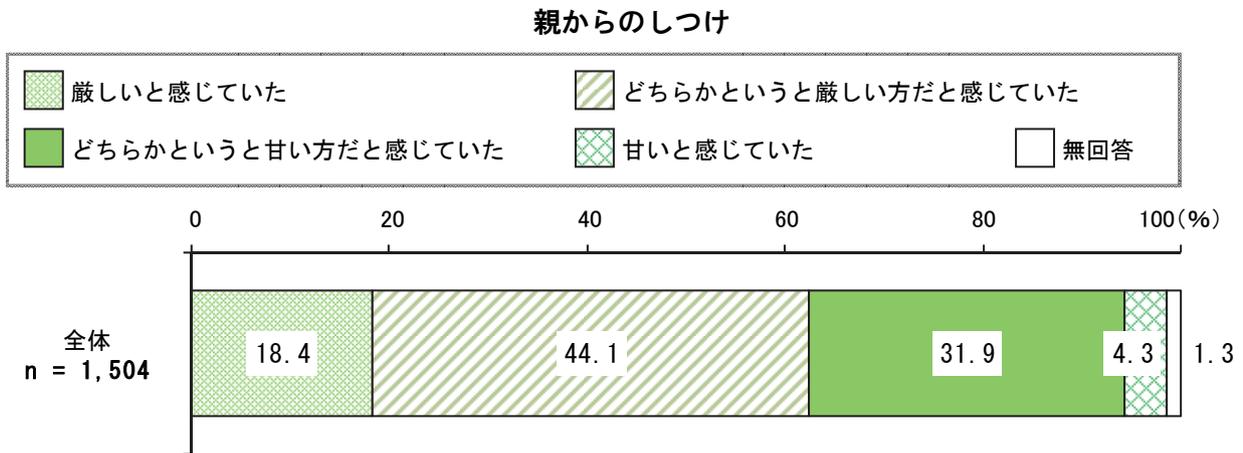
問5. あなたは、お子さんに対するしつけについてどう感じていますか（いましたか）。（○は1つ）



子どもに対するしつけは、「甘い（甘かった）と思う」（4.3%）と「どちらかという甘い方だ（だった）と思う」（45.6%）を合わせた『しつけは甘く』が 49.9%、「厳しい（厳しかった）と思う」（5.3%）と「どちらかというと厳しい方だ（だった）と思う」（43.6%）を合わせた『しつけは厳しく』が 48.9% となっている。

(2) 親からのしつけ

問6. あなたが子どもの頃、あなたの親からのしつけについてどう感じていましたか。（○は1つ）

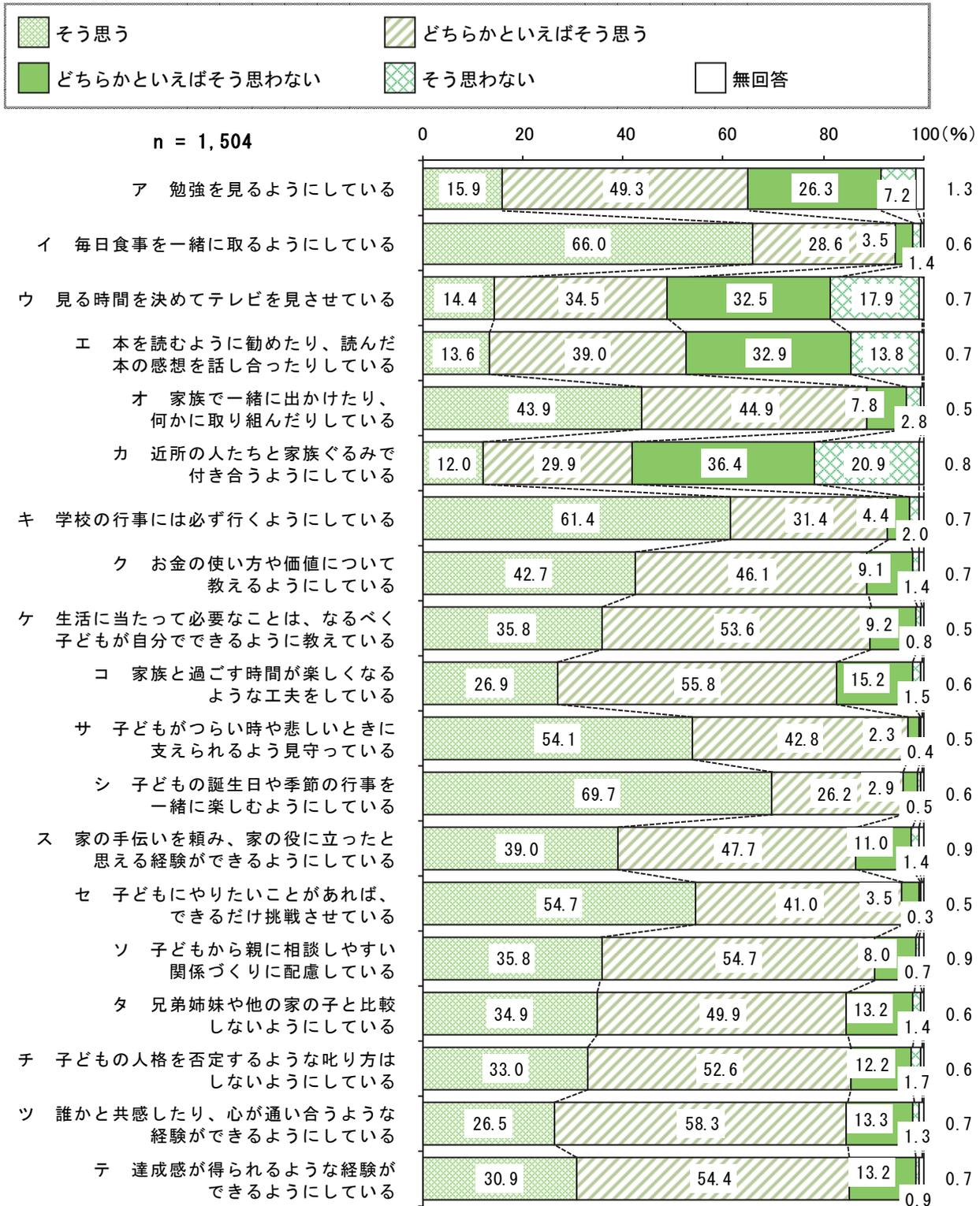


親からのしつけは、「厳しいと感じていた」（18.4%）と「どちらかというと厳しい方だと感じていた」（44.1%）を合わせた『しつけは厳しく』が 62.5%、「甘いと感じていた」（4.3%）と「どちらかという甘い方だと感じていた」（31.9%）を合わせた『しつけは甘く』が 36.2%となっている。

(3) 子育てに当たって心がけていること

問7. あなたが子育てに当たって心がけていること（いたこと）を教えてください。
（ア～テについてそれぞれ〇は1つ）

子育てに当たって心がけていること



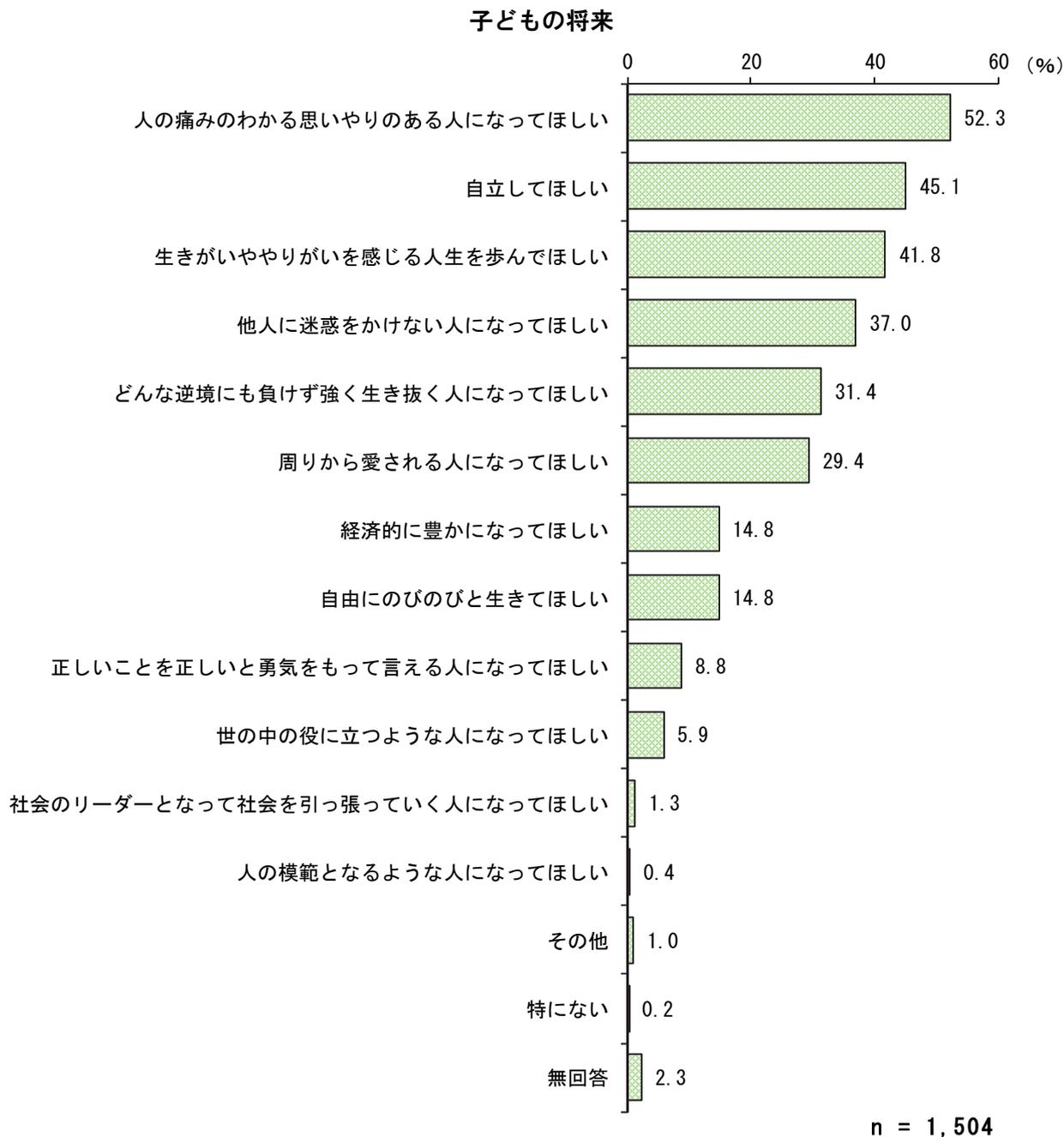
子育てに当たって心がけていることについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[サ 子どもがつらい時や悲しいときに支えられるよう見守っている]が96.9%で最も高く、次いで[シ 子どもの誕生日や季節の行事を一緒に楽しむようにしている]が95.9%、[セ 子どもにやりたいことがあれば、できるだけ挑戦させている]が95.7%、[イ 毎日食事を一緒に取るようにしている]が94.6%、[キ 学校の行事には必ず行くようにしている]が92.8%、[ソ 子どもから親に相談しやすい関係づくりに配慮している]が90.5%と続いている。

中でも「そう思う」の割合が高い項目は、[シ 子どもの誕生日や季節の行事を一緒に楽しむようにしている]（69.7%）、[イ 毎日食事を一緒に取るようにしている]（66.0%）、[キ 学校の行事には必ず行くようにしている]（61.4%）となっている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[カ 近所の人たちと家族ぐるみで付き合うようにしている]が57.3%で最も高く、次いで[ウ 見る時間を決めてテレビを見させている]が50.4%、[エ 本を読むように勧めたり、読んだ本の感想を話し合ったりしている]が46.7%、[ア 勉強を見るようにしている]が33.5%と続いている。

(4) 子どもの将来

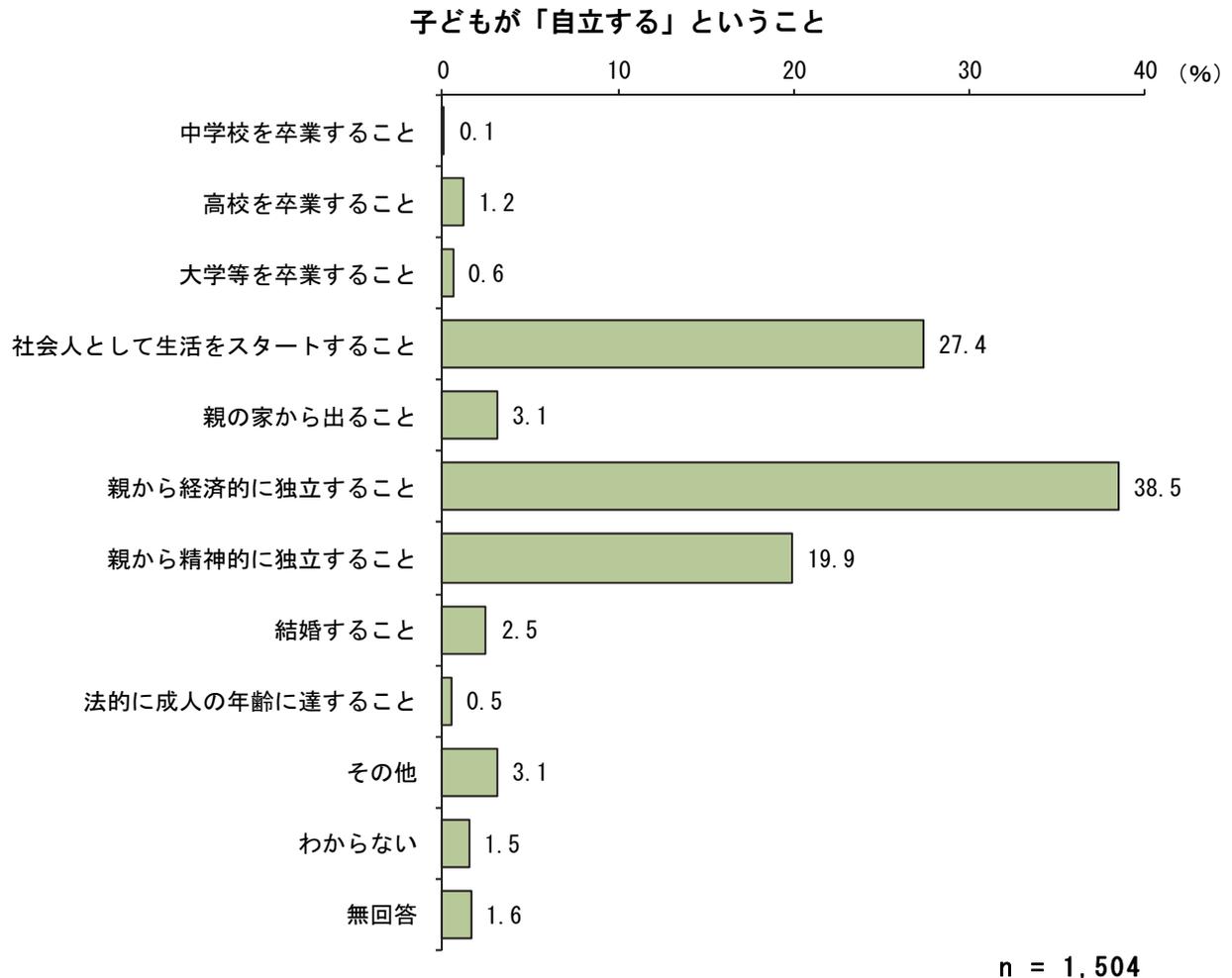
問8. あなたは、お子さんの将来についてどのようになってほしいと望んでいますか。（〇は3つまで）



子どもの将来は、「人の痛みのわかる思いやりのある人になってほしい」が 52.3%で最も高く、次いで「自立してほしい」が 45.1%、「生きがいややりがいを感じる人生を歩んでほしい」が 41.8%、「他人に迷惑をかけない人になってほしい」が 37.0%、「どんな逆境にも負けず強く生き抜く人になってほしい」が 31.4%、「周りから愛される人になってほしい」が 29.4%と続いている。

(5) 子どもが「自立する」ということ

問9. あなたは、子どもが「自立する」とはどういう状態だと考えますか。（○は1つ）

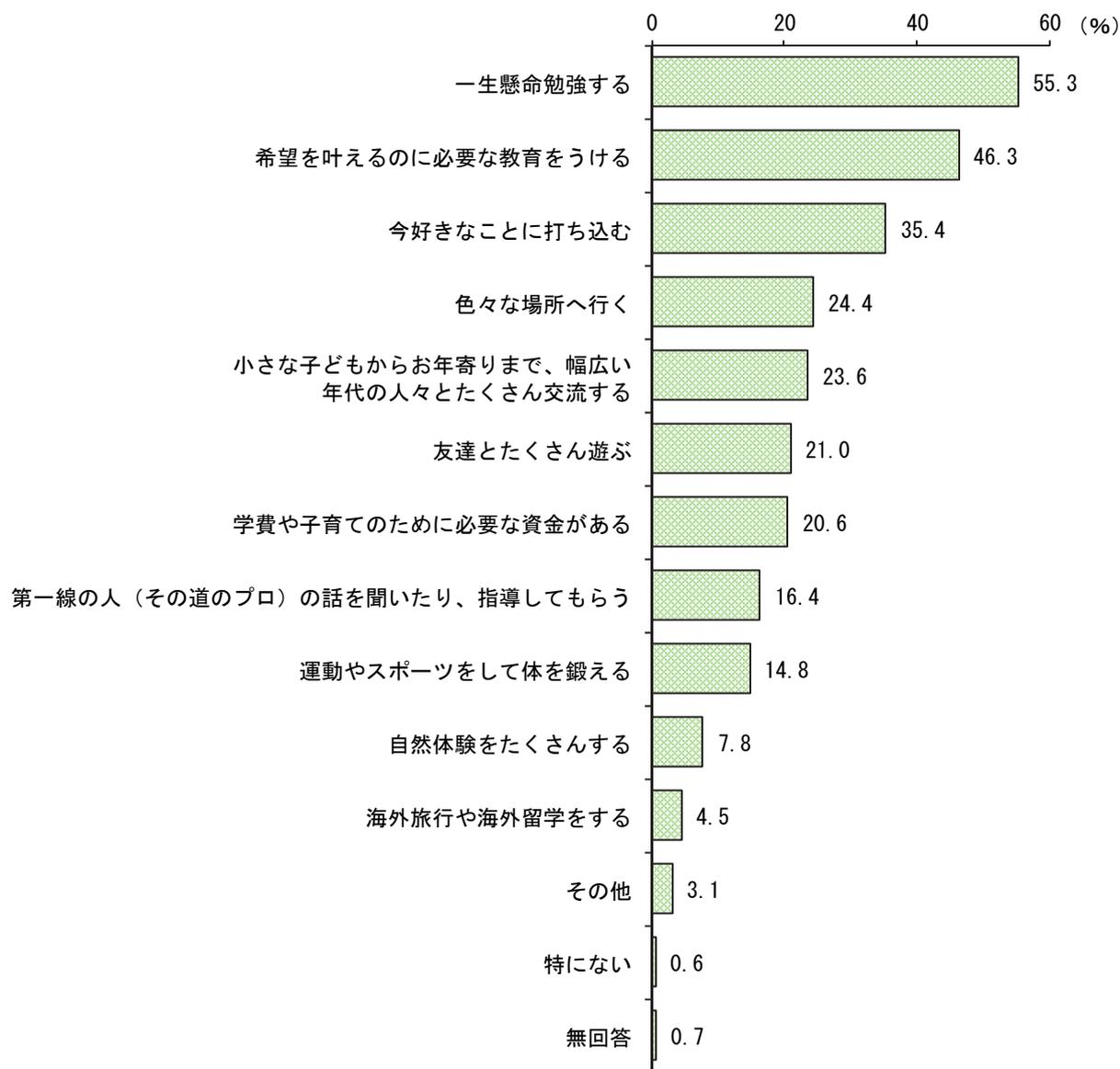


子どもが「自立する」ということは、「親から経済的に独立すること」が 38.5%で最も高く、次いで「社会人として生活をスタートすること」が 27.4%、「親から精神的に独立すること」が 19.9%と続いている。

(6) 子どもが将来「夢を実現する」、「希望の職業に就く」ため必要なこと

問 10. あなたは、子どもが将来「夢を実現する」、「希望の職業に就く」ためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

子どもが将来「夢を実現する」、「希望の職業に就く」ため必要なこと

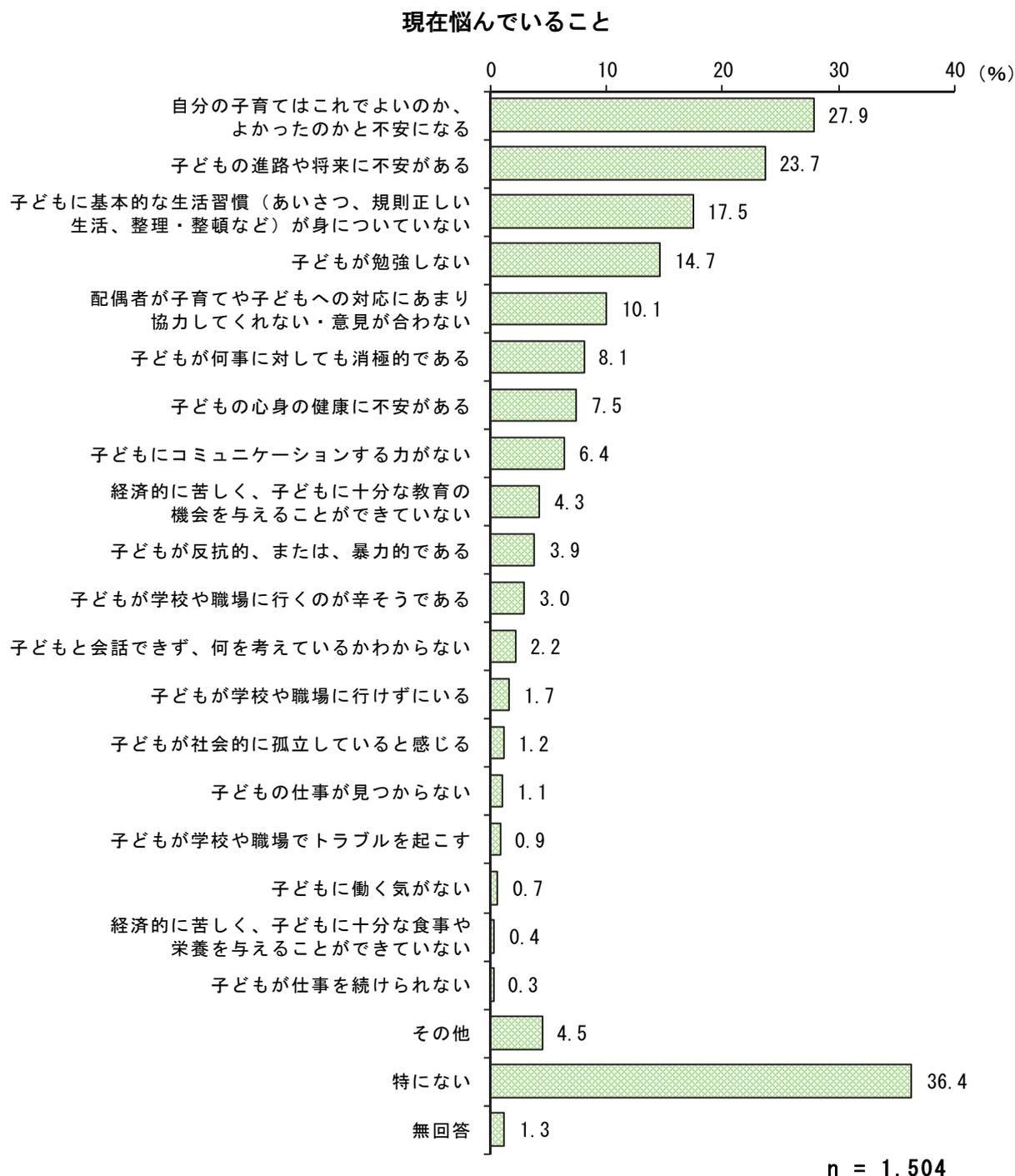


n = 1,504

子どもが将来「夢を実現する」、「希望の職業に就く」ため必要なことは、「一生懸命勉強する」が55.3%で最も高く、次いで「希望を叶えるのに必要な教育をうける」が46.3%、「今好きなことに打ち込む」が35.4%、「色々な場所へ行く」が24.4%、「小さな子どもからお年寄りまで、幅広い年代の人々とたくさん交流する」が23.6%、「友達とたくさん遊ぶ」が21.0%、「学費や子育てのために必要な資金がある」が20.6%と続いている。

(7) 現在悩んでいること

問 11. あなたは、お子さんのことで現在悩んでいることはありますか。（〇はいくつでも）

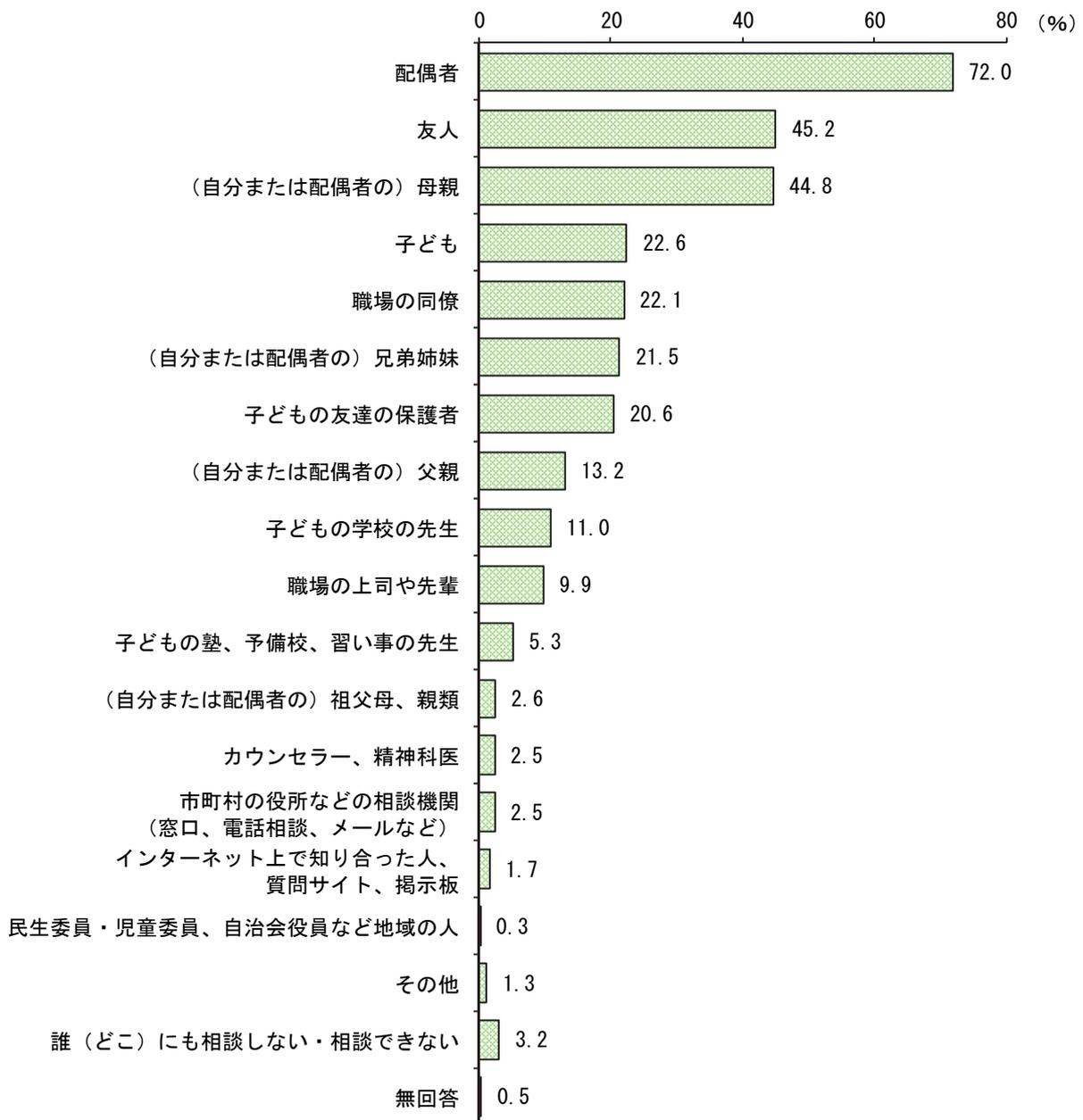


現在悩んでいることは、「特にない」が 36.4%で最も高くなっている。一方、「自分の子育てはこれでよいのか、よかったのかと不安になる」が 27.9%、「子どもの進路や将来に不安がある」が 23.7%、「子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい生活、整理・整頓など）が身についていない」が 17.5%、「子どもが勉強しない」が 14.7%となっている。

(8) 困っているときや悩んでいるときに相談する相手（場所）

問 12. あなたが困っているときや悩んでいるときに相談する相手（場所）を教えてください。
 (○はいくつでも)

困っているときや悩んでいるときに相談する相手（場所）



n = 1,504

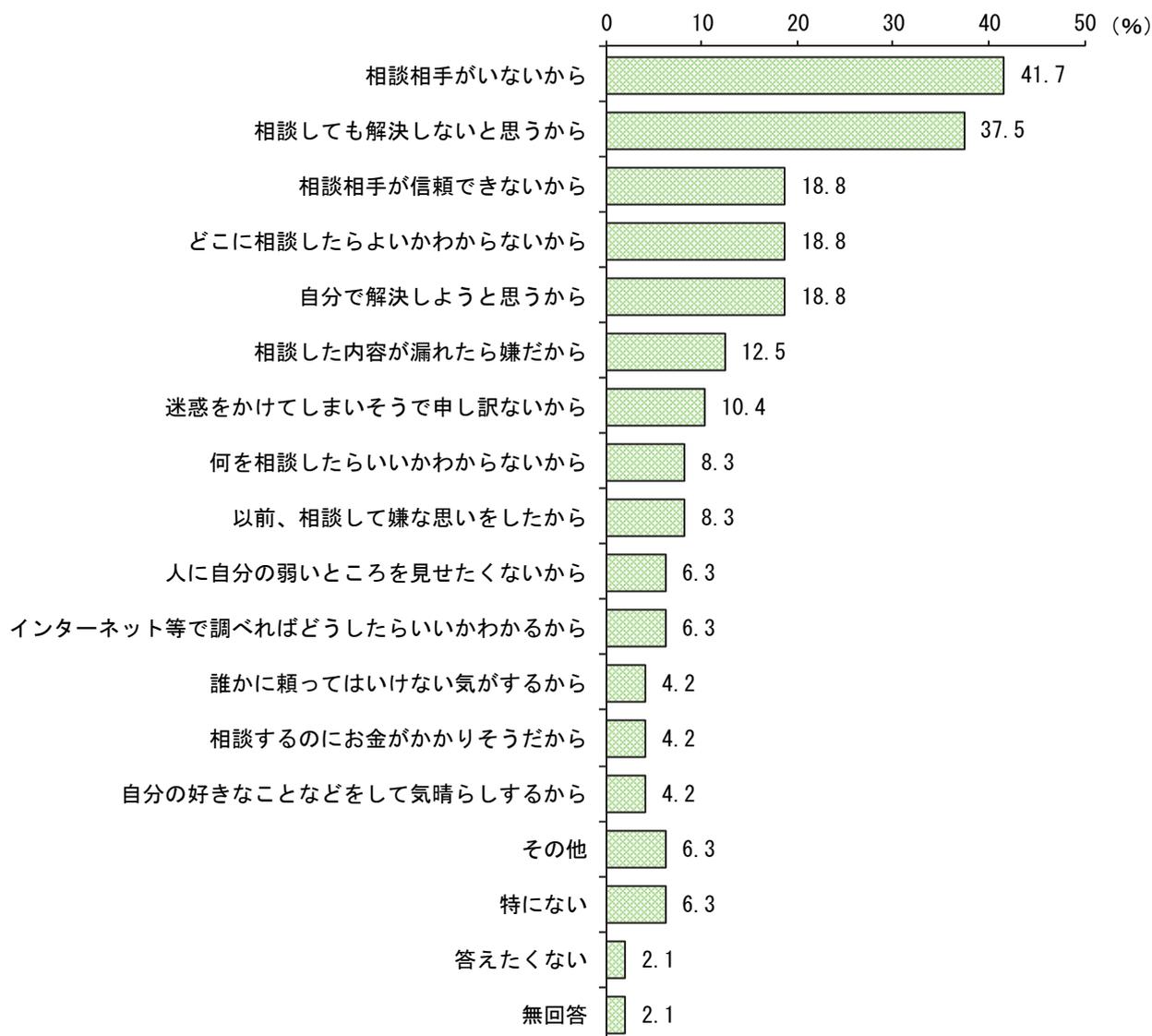
困っているときや悩んでいるときに相談する相手（場所）は、「配偶者」が 72.0%で最も高くなっている。以下「友人」が 45.2%、「(自分または配偶者の) 母親」が 44.8%、「子ども」が 22.6%、「職場の同僚」が 22.1%、「(自分または配偶者の) 兄弟姉妹」が 21.5%、「子どもの友達の保護者」が 20.6%となっている。

(9) 誰（どこ）にも相談しない・相談できない理由

【問 12. で「18. 誰（どこ）にも相談しない・相談できない」に○をした方にお伺いします。】

問 12-1. 相談しない・相談できない理由を教えてください。（○はいくつでも）

誰（どこ）にも相談しない・相談できない理由

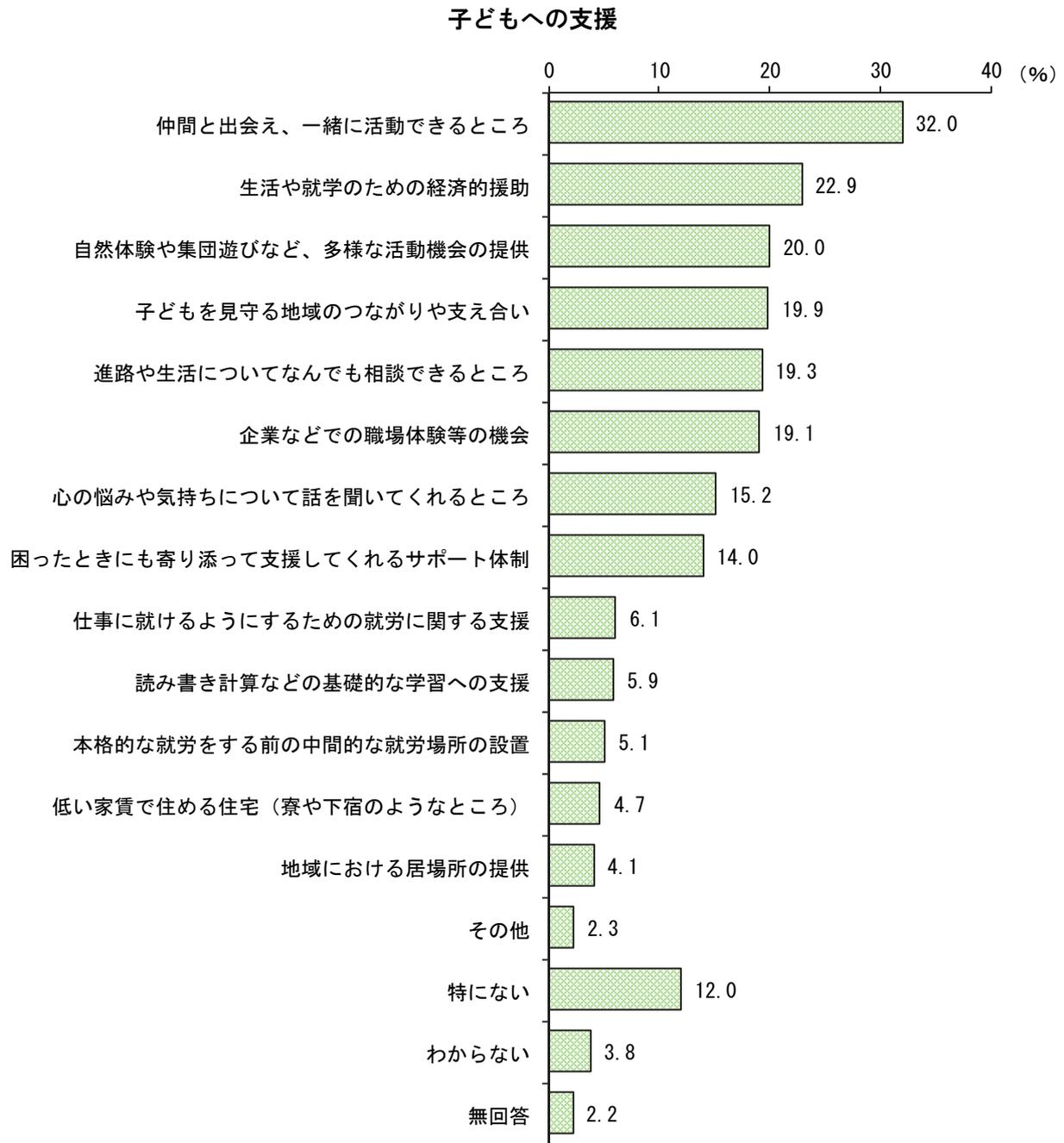


n = 48

誰（どこ）にも相談しない・相談できない理由は、「相談相手がないから」が 41.7%で最も高く、次いで「相談しても解決しないと思うから」が 37.5%となっている。

(10) 子どもへの支援

問 13. あなたは、あなたのお子さんにとって、どのような支援があるとよい（あればよかった）と思いますか。（〇は3つまで）

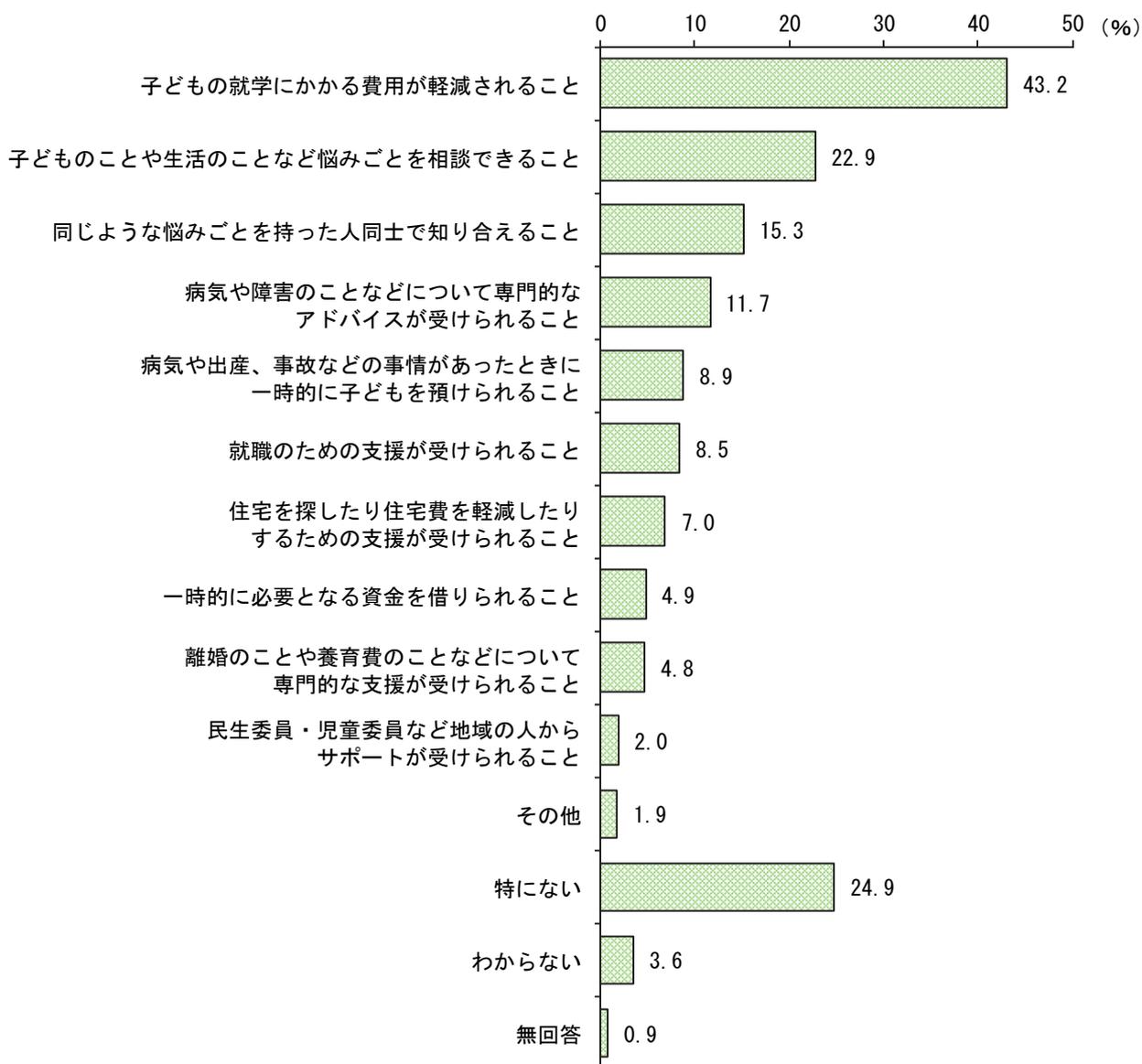


子どもへの支援は、「仲間と出會え、一緒に活動できる場所」が 32.0%で最も高く、次いで「生活や就学のための経済的援助」が 22.9%、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」が 20.0%、「子どもを見守る地域のつながりや支え合い」が 19.9%、「進路や生活についてなんでも相談できる場所」が 19.3%、「企業などでの職場体験等の機会」が 19.1%と続いている。

(11) 保護者等への支援

問 14. あなた自身が現在必要としていることや、重要だと思う支援とはどのようなものですか。
 (〇は3つまで)

保護者等への支援



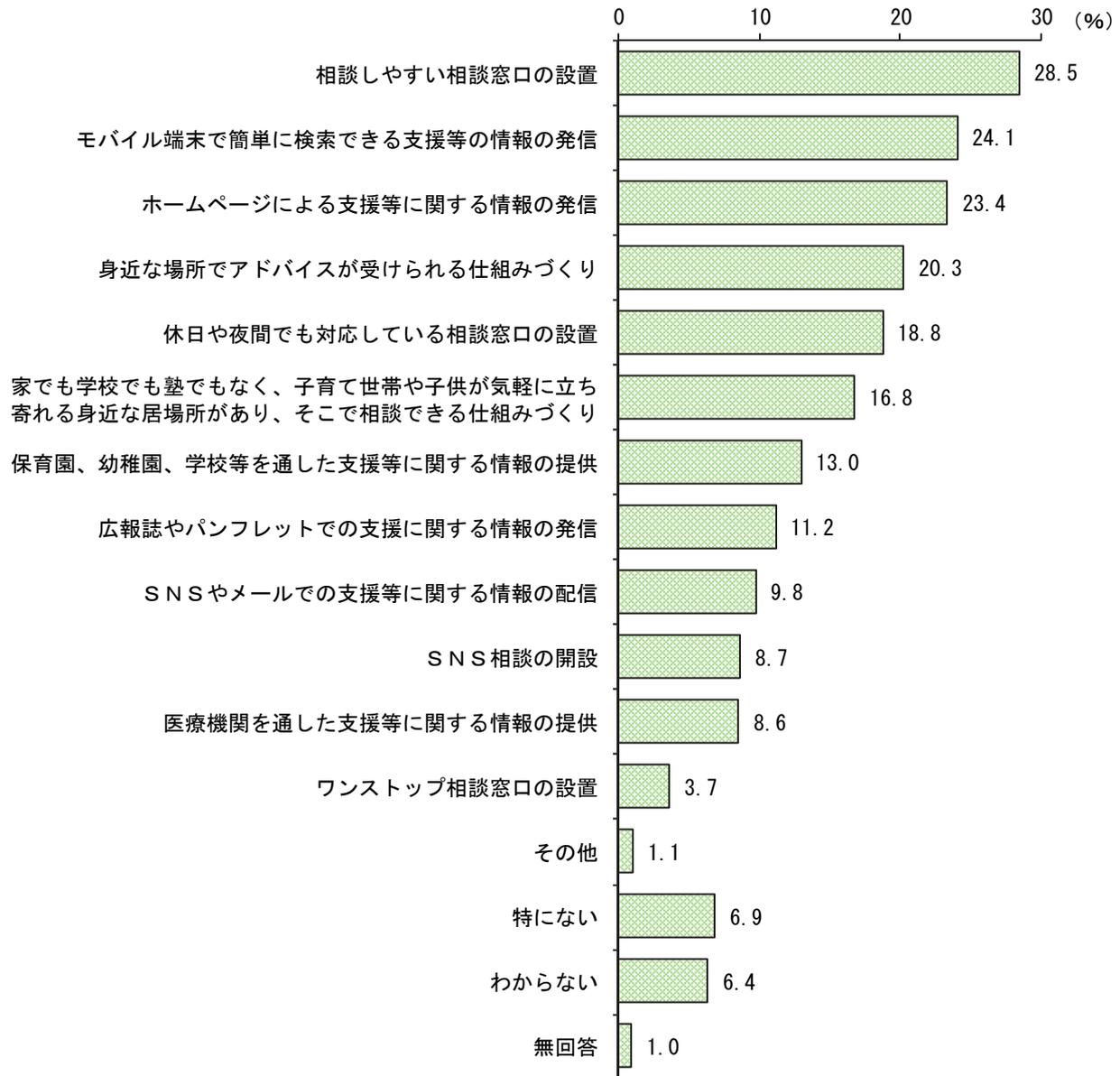
n = 1,504

保護者等への支援は、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 43.2%で最も高くなっている。以下「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が 22.9%、「同じような悩みごとを持った人同士で知り合えること」が 15.3%、「病気や障害のことなどについて専門的なアドバイスが受けられること」が 11.7%となっている。一方、「特にない」が 24.9%となっている。

(12) 悩みごとや困っているときに重要なこと

問 15. あなたは、悩みごとや困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするためには、どのようなことが重要だと思いますか。（〇は3つまで）

悩みごとや困っているときに重要なこと



n = 1,504

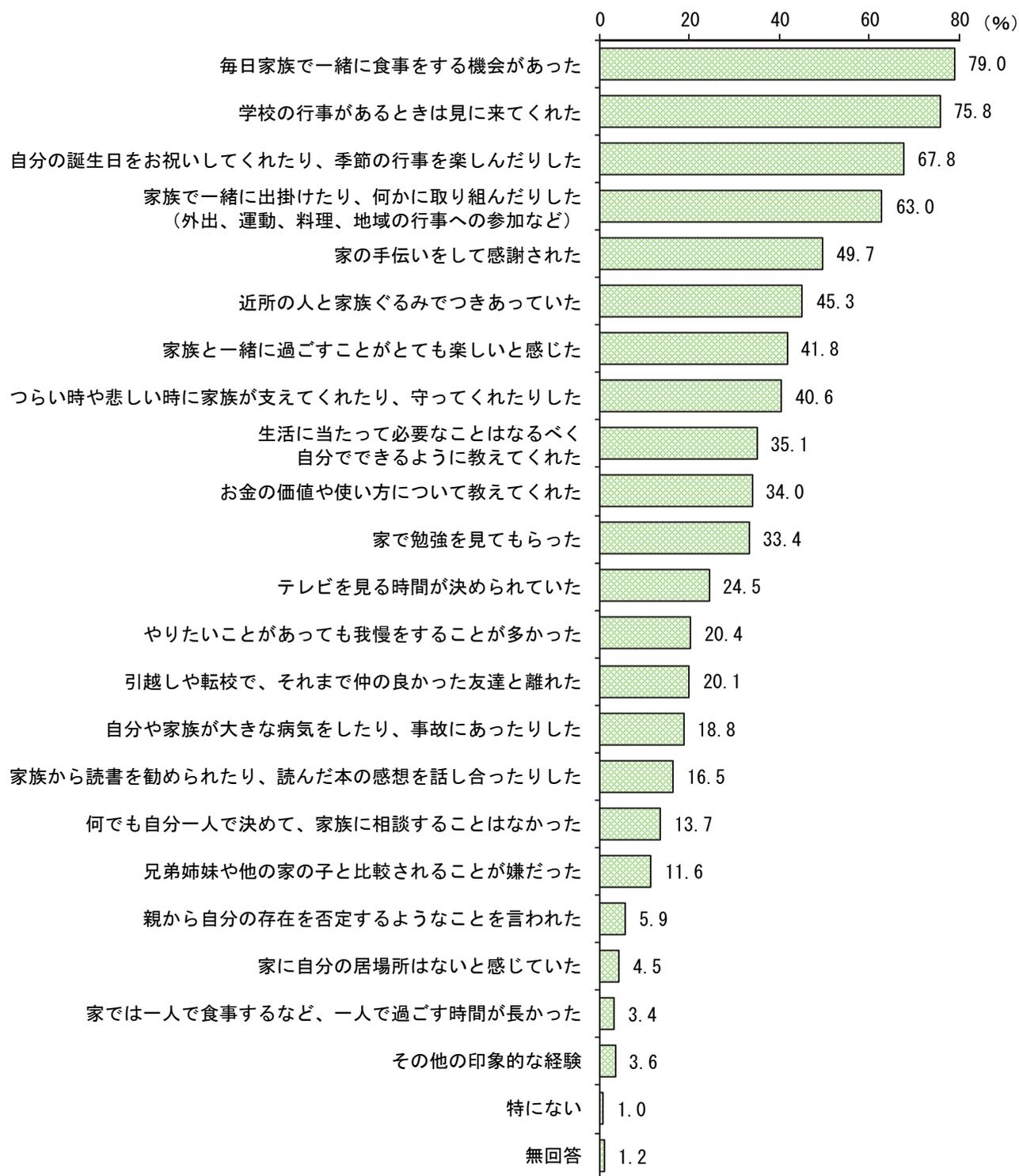
悩みごとや困っているときに重要なことは、「相談しやすい相談窓口の設置」が 28.5%で最も高く、次いで「モバイル端末で簡単に検索できる支援等の情報の発信」が 24.1%、「ホームページによる支援等に関する情報の発信」が 23.4%、「身近な場所でアドバイスが受けられる仕組みづくり」が 20.3%と続いている。

4. 子どもの頃の経験について

(1) 家庭内での経験

問 16. あなたが子どものころ、家庭内で、次のような経験をしたことがありますか。（○はいくつでも）

家庭内での経験



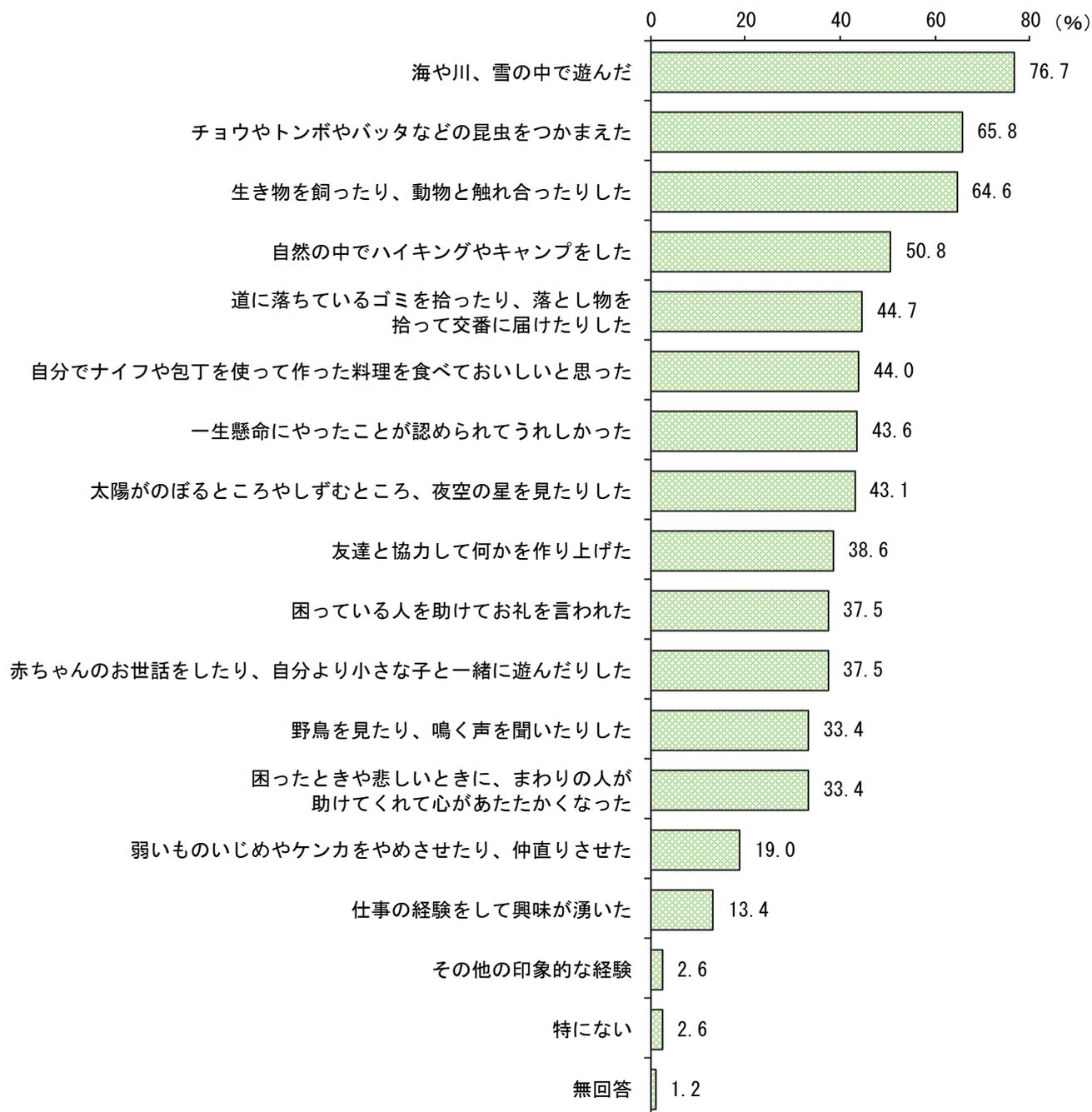
n = 1,504

家庭内での経験は、「毎日家族と一緒に食事をする機会があった」が79.0%で最も高く、次いで「学校の行事があるときは見に来てくれた」が75.8%、「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」が67.8%、「家族と一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした（外出、運動、料理、地域の行事への参加など）」が63.0%、「家の手伝いをして感謝された」が49.7%、「近所の人と家族ぐるみでつきあっていた」が45.3%、「家族と一緒に過ごすことがとても楽しいと感じた」が41.8%、「つらい時や悲しい時に家族が支えてくれたり、守ってくれたりした」が40.6%と続いている。

(2) 自然や社会との関わりの中での経験

問 17. あなたが子どもの頃、自然や社会との関わりの中で、次のような経験をしたことがありますか。
 (○はいくつでも)

自然や社会との関わりの中での経験



n = 1,504

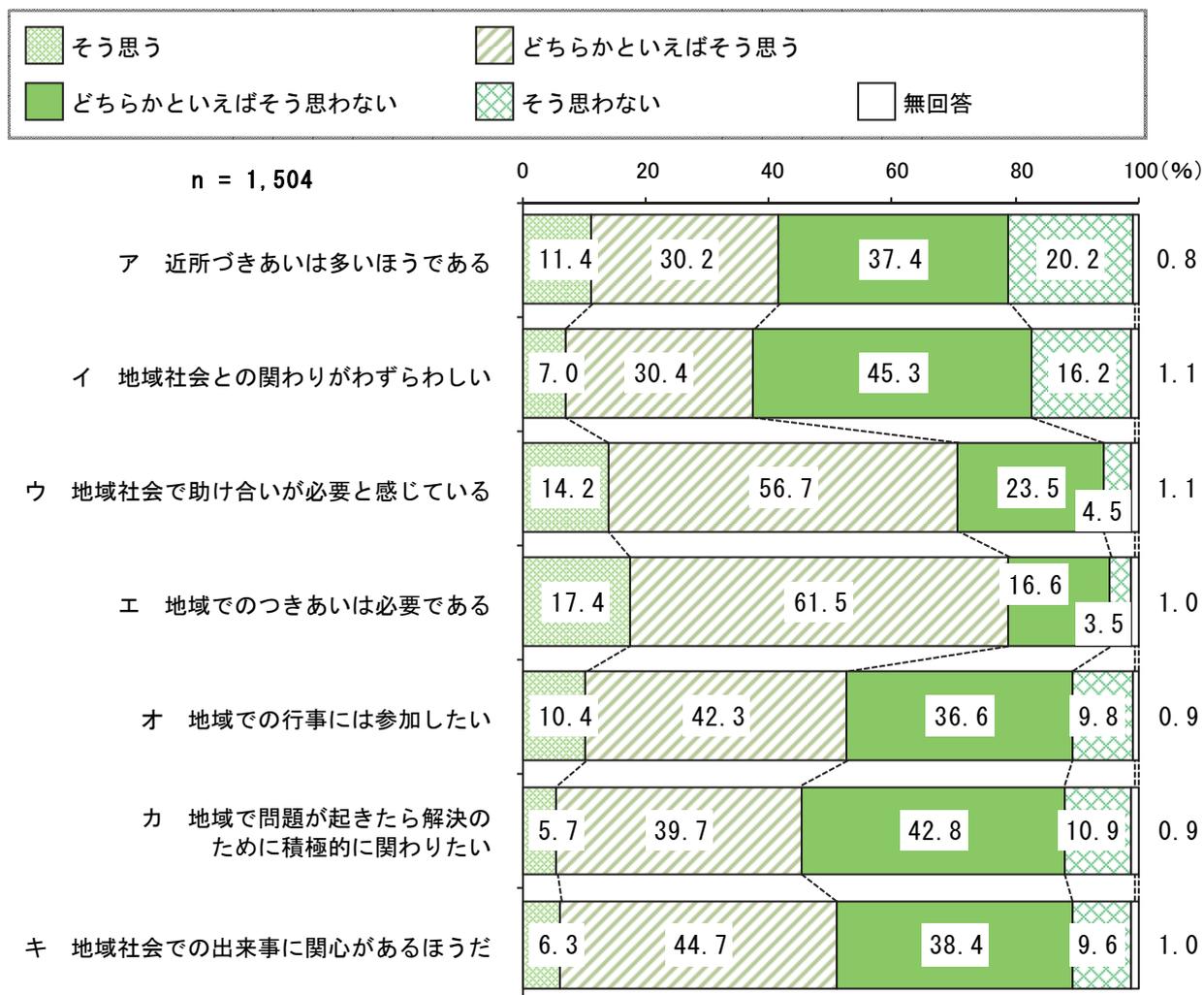
自然や社会との関わりの中での経験は、「海や川、雪の中で遊んだ」が 76.7%で最も高く、次いで「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえた」が 65.8%、「生き物を飼ったり、動物と触れ合ったりした」が 64.6%、「自然の中でハイキングやキャンプをした」が 50.8%と続いている。

5. 地域との関わりについて

(1) 現在住んでいる地域に感じていること

問 18. あなたは、現在住んでいる地域のこと、次のように感じることがありますか。
（ア～キについてそれぞれ○は1つ）

現在住んでいる地域に感じていること

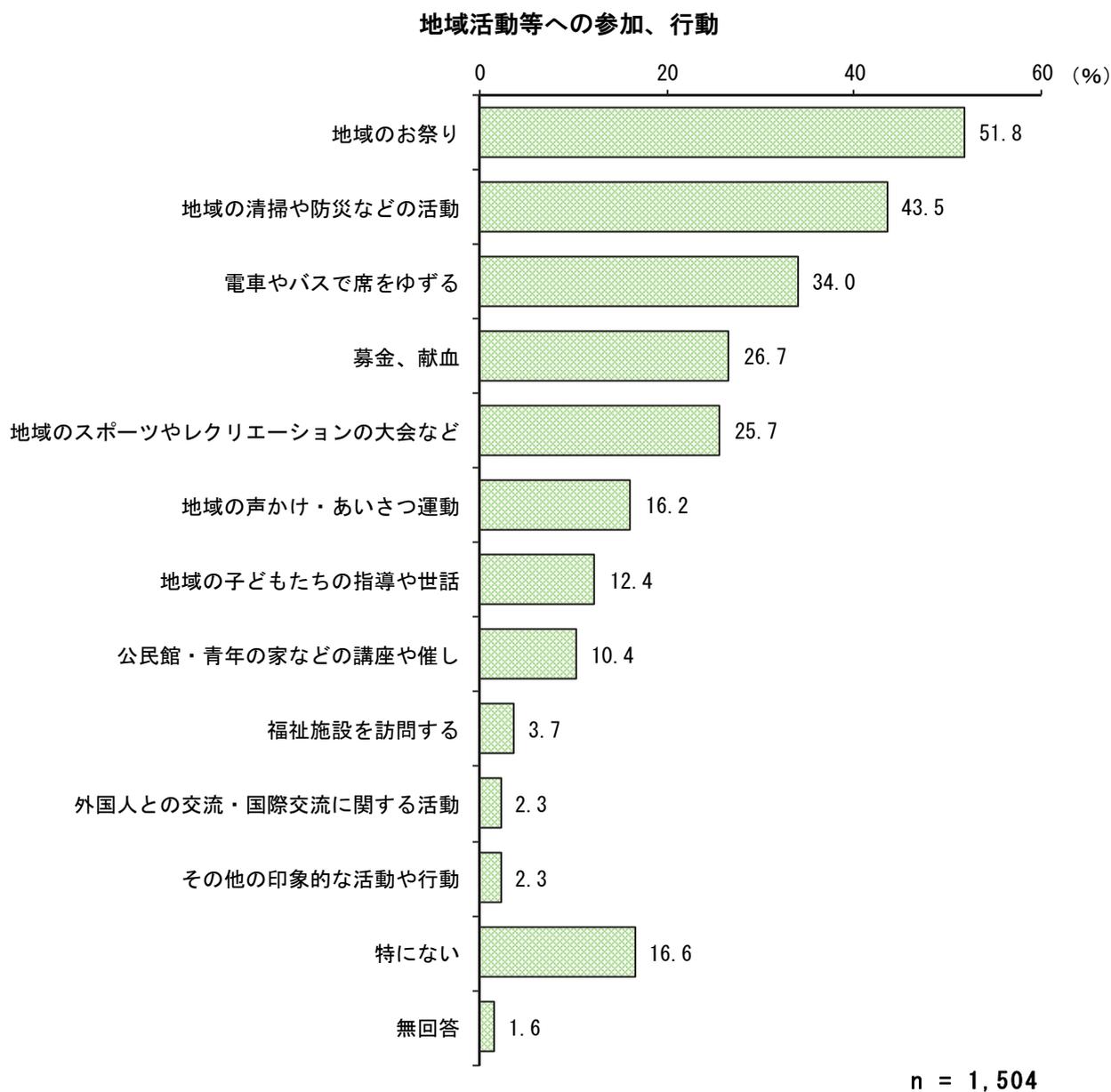


現在住んでいる地域に感じていることについて、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は、[エ 地域でのつきあいは必要である]が78.9%で最も高く、次いで[ウ 地域社会で助け合いが必要と感じている]が70.9%と続いている。

一方、「思わない」と「どちらかといえば思わない」を合わせた『思わない』は、[イ 地域社会との関わりがわずらわしい]が61.5%で最も高く、次いで[ア 近所づきあいは多いほうである]が57.6%、[カ 地域で問題が起きたら解決のために積極的に関わりたい]が53.7%と続いている。

(2) 地域活動等への参加、行動

問 19. あなたは、この2～3年の間に、次のような活動に参加したり、行動をしたりしたことがありますか。（〇はいくつでも）



地域活動等への参加、行動は、「地域のお祭り」が51.8%で最も高く、次いで「地域の清掃や防災などの活動」が43.5%、「電車やバスで席をゆずる」が34.0%、「募金、献血」が26.7%、「地域のスポーツやレクリエーションの大会など」が25.7%と続いている。

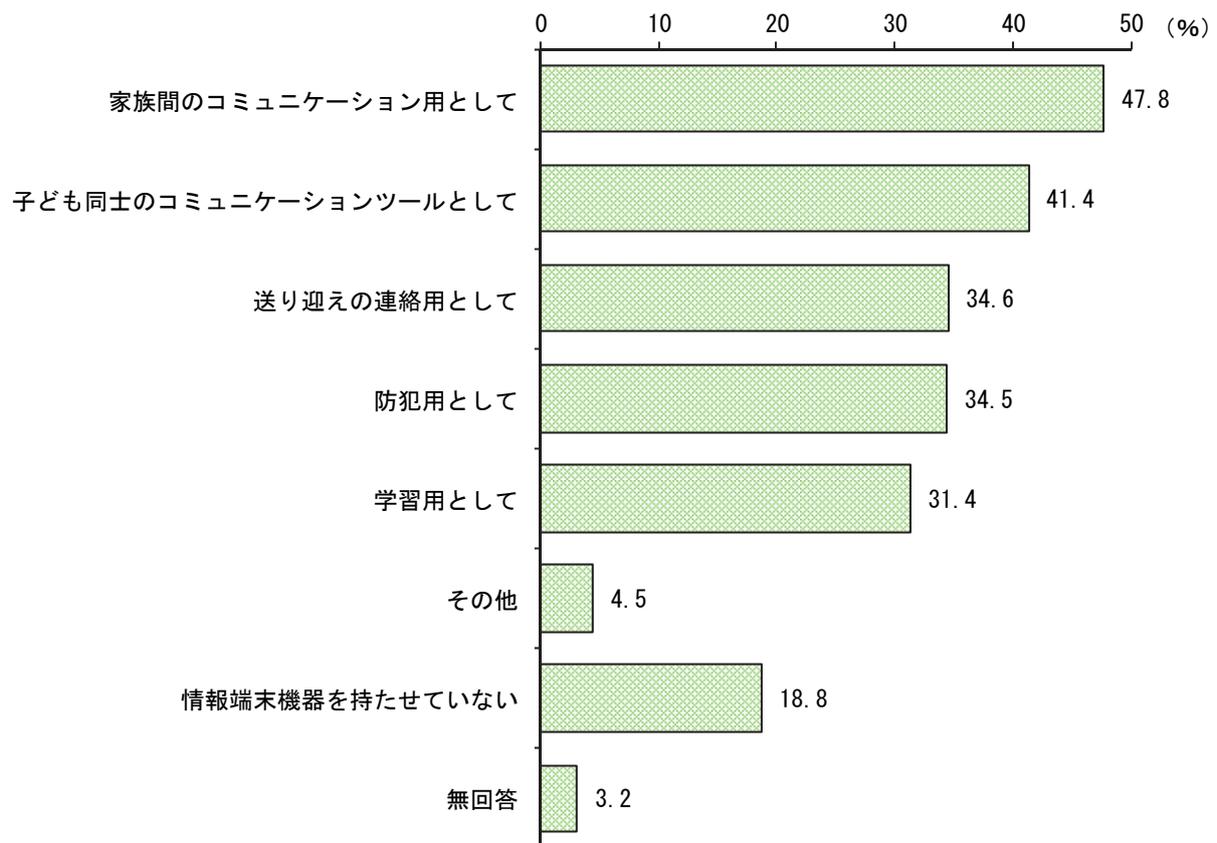
6. 情報端末機器の使用について

(1) 子どもに情報端末機器を持たせている理由

(18歳未満のお子さんと同居している方)

問 20. あなたのお子さんに、スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの情報端末機器を持たせている理由を教えてください。（〇はいくつでも）

子どもに情報端末機器を持たせている理由



n = 1,183

子どもに情報端末機器を持たせている理由は、「家族間のコミュニケーション用として」が47.8%で最も高く、次いで「子ども同士のコミュニケーションツールとして」が41.4%、「送り迎えの連絡用として」が34.6%、「防犯用として」が34.5%、「学習用として」が31.4%と続いている。

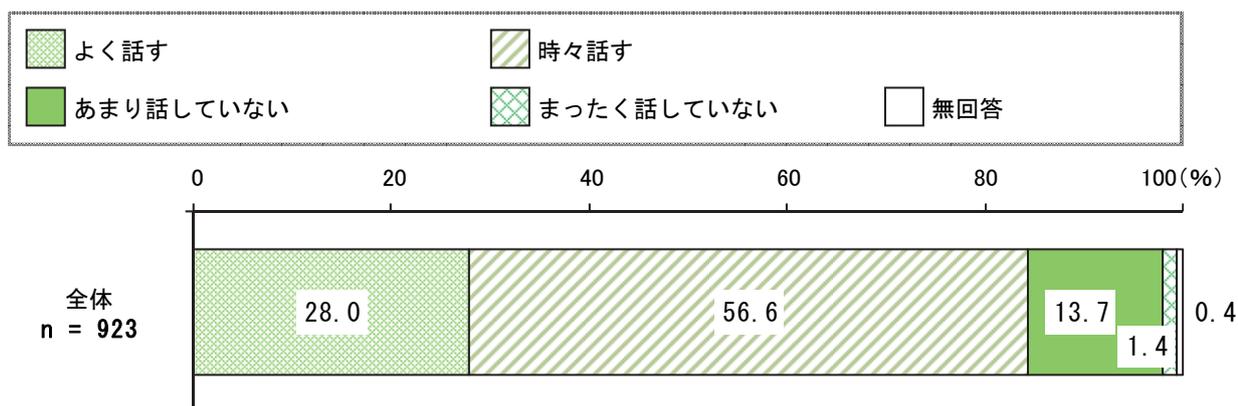
(2) インターネットの使い方について子どもと話をすること

（18歳未満のお子さんと同居している方）

※情報端末機器を持たせている場合のみご回答ください。

問 21. あなたはインターネットの使い方について、お子さんと話をすることがありますか。（○は1つ）

インターネットの使い方について子どもと話をすること



インターネットの使い方について子どもと話をすることは、「時々話す」が 56.6%、「よく話す」が 28.0%、「あまり話していない」が 13.7%となっている。

(3) インターネット利用に当たっての子どもとのルール

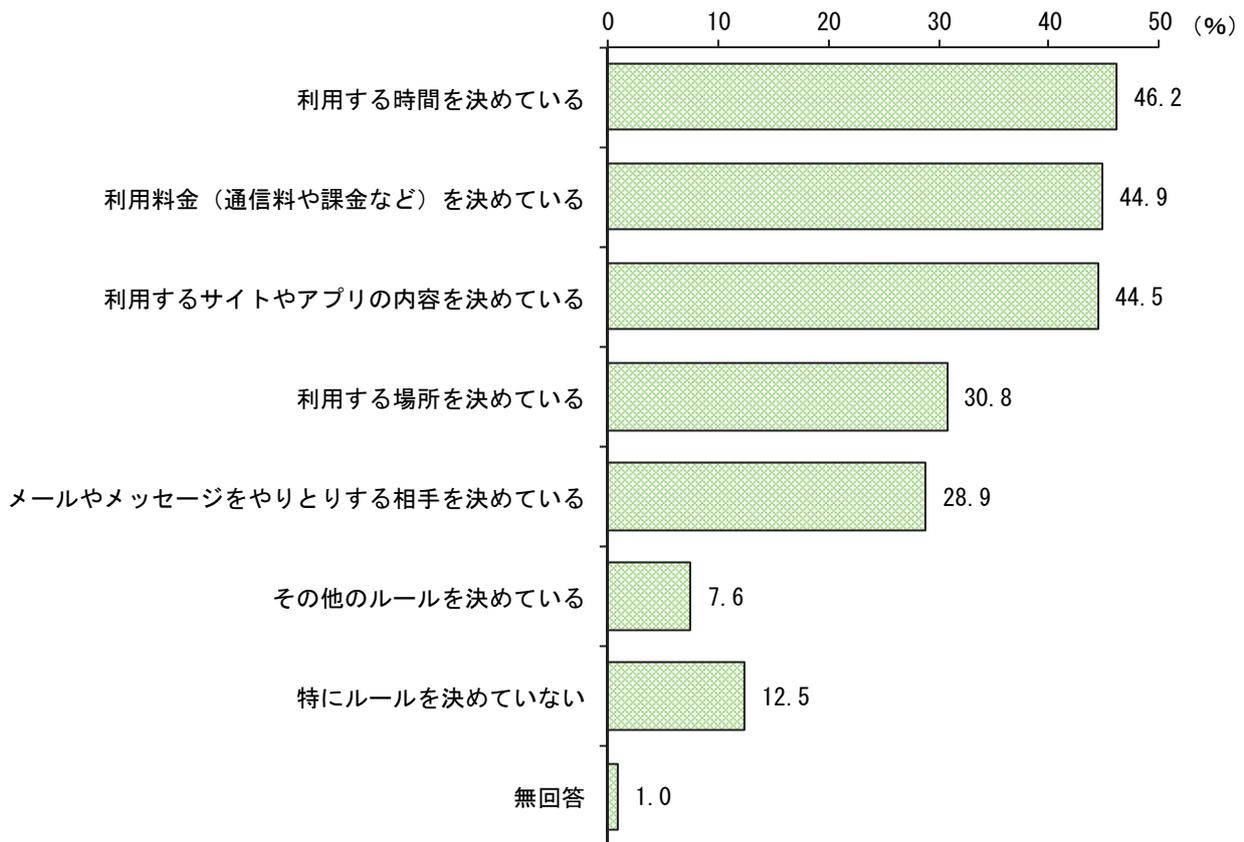
（18歳未満のお子さんと同居している方）

※情報端末機器を持たせている場合のみご回答ください。

問 22. あなたは、インターネットの利用に当たって、お子さんとルールを決めていますか。

（○はいくつでも）

インターネット利用に当たっての子どもとのルール



n = 923

インターネット利用に当たって子どもとのルールを決めているかについては、「利用する時間を決めている」が46.2%で最も高く、次いで「利用料金（通信料や課金など）を決めている」が44.9%、「利用するサイトやアプリの内容を決めている」が44.5%、「利用する場所を決めている」が30.8%、「メールやメッセージをやりとりする相手を決めている」が28.9%と続いている。